

第170回簡易アンケート自由意見（709件）

質問13 今後のケアラー・ヤングケアラー支援施策に対して期待することやご意見、ご要望などありましたら、ご自由にお書きください。	
1	それ以前に、地域コミュニティの醸成・医療充実・介護充実をすること
2	支援してほしい方の把握できない。
3	不安定な時代が続いているので、先ず身近なところからアドバイスをして改善するように勧めたいと思います。
4	民生委員をしています。ケアラーやヤングケアラーの存在の情報提供をしてほしい。
5	(ヤング)ケアラーという呼び名に、正直やや抵抗がある。 でも、介護や支援に関わる人(プロでない人)は、若いほど孤立しがちなことを感じるの で、 とにかく孤立しないことを意識した支援が必要だと思う。 とはいえ、近づきすぎても逆効果だと思うので、「どうしても困ったときはここが援けにな ってくれる」という信頼できる場や人との繋がりが持てる社会であって欲しい。
6	「お手伝いをしてよかった」と、思われるような、気持ちの通じ合いがほしい。
7	「ケアラー」とはどういう方を指すのか、その定義をもっともっと社会に広める必要があ ると思います。 ケアラーなのにその意識がない方や、「ケアラー」という横文字を知らないため情報が得 られず、結果、支援を受け損なってしまう方がいるのではないかと危惧します。
8	「ケアラー」等外国語の流行りことばは止めましょう。「心の援助」「心の支援者」「お 助け話し家」等誰にでも通ずる言葉にするべきです。現今の社会は少しずつ世の中全体が 狂ってきています。強盗、窃盗、異常電話、騙し、脅し等が益々増加しています。平穏な 笑顔の絶えない世の中を取り戻すために「先ずは家庭内の安定と教育」が必要です。そこ からすべてスタートして議論の必要があります。私など良い実例で「85歳の老齢の妻を介 護しながら、また介護保険を利用しながら苦しい生活を送っています。」
9	「孤独死」のことが気になっています。
10	「親の介護」は我が国では、美談としてとらえられがち。しかし、実際は若者が自分の将 来を犠牲にしながら親や家族の介護をしていることでもある。 若者が自分の人生をいけることができるような具体的・物理的支援をおこなうことは、将 来の社会保障の支出抑制、税收アップなど社会的損失を防ぐためにも必要なことであ らう。
11	県民への認識・告知、まず認めてもらうことが第一ではないでしょうか。
12	お互いが良い環境での相談ができること。
13	・ホームへ入居しやすくする。 ・近隣の方への支援の要請、自治会役員が調整か。
14	もっとPRをすべきだ。公民館、図書館を始めにチラシを配布
15	・地域の民生委員さんとの役割分担がどうなるか心配です。
16	・役所、社協は人手不足で手が回らない。「ケアラー・ヤングケアラーとは・・・介護す る人を支えたい人のためのセミナー」等のセミナーを役所共催で開催する。 ・これを実施するため、介護保険導入時に埼玉県(必要経費、募集窓口担当)が実施した 「介護保険サポーター養成講座」のようなものをNPO主催で開催したらどうでしょうか。
17	○歳以上を対象としたアンケートをSNSを活用して実施するなど
18	1、町内会等で民生委員などの代わりに対象者をリストアップする方法を考える。 2、子ども食堂的な支援(経済的、時間的)ができないか?

19	<p>5世帯に1世帯は在宅で介護（ケア）をしている人がいる 4人に1人は複数の人の介護（ケア）をしている 高齢者や男性、未婚、働き盛りの介護者、育児と介護の両方を担う人、なども増えており、想像以上に幅広いケアラーが存在している 2人に1人は身体の不調を感じ、4人に1人以上は心の不調を感じている ことなどです。 その支援は最早国民的な課題です。 また、精神疾患・認知症の人を介護しているケアラーは、とくに負担感や孤立感を感じており、精神疾患のある親の元で、実際にはケアをしている子ども（10代・20代のヤングケアラー）は、“「病気」や「生活」「自分」のことが分からない”、“誰にも言えず、家の中でも孤独である”、“大人になっても「生活のしづらさ」を感じている” という調査結果もあります。 そして何よりケアラーは多様な支援を望んでいることも明らかになりました。 私たちは、介護者支援の目的を、 介護される人、する人の両当事者がともに尊重される 無理なく介護を続けることができる環境を醸成・整備する 介護者の社会参加を保障し、学業や就業、趣味や社交、地域での活動などを続けられるようにする 介護者の経験と、人びとの介護者への理解と配慮がともに活かされる社会（地域）をつくること。</p>
20	75才未満だと 包括の訪問もないし 民生委員の声掛けもないと聞いたことがあります
21	I Tが進んだ社会とは言え、社会的弱者ほど情報弱者になりやすいと思います。アナログ的な告知で啓もう活動していく方が良いかと思います。
22	NHKのドラマでもテーマにあったように、ケアラーが失職し、孤立することがないようにシステム作りが必要であると考えています。
23	PRを。
24	SNS等の簡単に触れることのできるツールで、公的支援の情報や医療的な情報を展開してほしい。 また、公的支援を充実させてほしい。
25	SOSが出しやすい体制整備をしっかりと、必要とする支援をちゃんとすべきだと思います。
26	あまりそのもの自体が知られていないと思うので、たくさんの人に知らせた方が良く思う。
27	あまりにもあやふやな話なので条件付けをし直してみようと言うことでしょうか？
28	あまり頑張りすぎず、追い込みすぎないような支援 長続きができる支援
29	あまり知らない自分が恥ずかしいと思いました。これからもっと理解を深めたいと思います。
30	いつか自分もなるだろう事なので他人事ではありません。出来る限りの金銭的支援・精神的支援があれば多くの方が助かると思います。必要な支援です。
31	いままで全く聞いたことがありませんでした。まずは周知徹底が必要だと思います。自分自身よくわかっていないので、何を期待すればよいのか分かりません。
32	いろいろなサポートを使うように促してほしい。自分でできるからと無理をしすぎてしまったり、使うことがよくないことと思う人もいるので… そして、きょうだい児のことも広めていってほしいです。
33	いろいろな面でいいことも相談ごとにも広範囲に話し合いができる事がベストだと思います。
34	いろんな意味で、助けが必要な時に、助けを求められる環境が一番大事だと思う。
35	いわゆる社会的弱者に対して行政は冷たすぎるとかねがね思っております。現在政府が行っていますG o T oトラベルキャンペーン等にしましても、それを使えるのはある程度お金と時間がある方ばかりで、ケアラーやヤングケアラー、それから生活に困っておられる方のことは一切考えていない政策です。 ケアラーに対してもそうですが、特にヤングケアラーの方たちが希望する教育機会を得られるように考えて欲しいと思います。 ヤングケアラーの方たちが希望を持てる社会、負の連鎖が起きない社会を是非宜しく願っています。
36	オールドケアラーとして少しでも役に立つことがあれば教えてください
37	おじいちゃんの体が不自由だったので、おばあちゃんをはじめ、家族が介護をするということがあったりもしましたが、学生だともともと精神的に不安定な時期であるから、とても大変だろうなと感じました。成人済みの人には経済的支援、学生には将来含め相談ができる環境、そして先生たちの配慮が必要だと感じました。
38	お世話をしていてなかなか言い出せなかったり 悩み事も多いと思うので相談できる場所や 1週間のうちの1～2日は休めるように支援してあげてほしい デイサービスとかにお願いするのにもお金がかかってしまうので 経済的支援やチケットなど配布してケアしてる人に 気持ちと身体的にも休ませてあげて欲しいです
39	お役所に窓口でも作った方がいいんじゃないですか？
40	カタカナ言葉だとなじみがないですが以前ケアマネージャーの仕事をしていた時にたくさんかかわってきました。身内の介護はケアする人の意志と関係なくせざるを得ない人も多いです。とにかくどこにでも誰にでも相談して共有し、使えるサービスは使っていき、頼れる人には頼ってほしいです。

41	カタカナ語の排除とわかりやすい用語を生み出す力
42	ケアを受けられる基準が分かる情報が必要。
43	ケアが必要な人の介護施設の充実
44	ケアが必要な方を定期的に預けられる費用の支援 ケアラーに対して定期的にメンタルケアをする
45	ケアしている人がいる事が分かる様になって、少しでもお手伝いできる様にとおもいます。
46	ケアしてもらう側とする側の信頼関係が大事。意識の違いは致命的な問題に発展しかねないので明確に共有する必要あり。できれば、複数人で立会い、説明事項は記録しておくことが望ましい。
47	ケアマネさん、訪問介護士さんに親身に寄り添ってもらい、大変ありがたかったです。入院したり、施設が変わるとケアマネさんが変更になるのは大変負担です。私の場合は、在宅介護を目指していたので、発注はしなくても、ずっと一緒に話を聞いてもらえました。それが大変ありがたかったです。 自分以外にも、母の状況を分かってもらえていることが安心感に繋がりました
48	ケアマネジャーの力添え、デイサービスの拡充など、ケアされる人をなるべくケアラーから離す働きかけが必要
49	ケアラー、ヤングケアラーはなぜ横文字を使うのか。世話役、保護役でいいではないか。横文字が多すぎるのは役人の自己満足ではないのか。
50	ケアラー、ヤングケアラーがどういうものなのかわからないのもっとPRしてもらいたい。
51	ケアラー、ヤングケアラーとどうして横文字を使用して日本語を使用しないのかが気になります。介護者等の方が伝わるのではないのでしょうか。 18才未満が学業に専念できず介護も負担するような状況は解消されるべきでありヤングケアラーという言葉自体なくなるようになればいいと思います。そのために別の介護者の派遣や施設入所を進めるべきと考えます。
52	ケアラー、ヤングケアラーと言う用語を、初めて聞きました。実際にどれくらいの方々がいるのか、どれ程のご苦労があるのか、知りたくになりました。特にヤングケアラーは、『昔話の、親の介護をしている健気な娘』のイメージがありそうですが、実態が気になります。
53	ケアラー、ヤングケアラーの人も、今までと同じ生活が出来るように、周囲でサポート体制を整えることが必要だと思います。 ケアラーの人に対して具体的に何が出来るのか、学べる機会を作り、一人一人の意識を変えていくことが必要だと思います。
54	ケアラー、特にヤングケアラーが自立していくための経済的支援・精神的支援が必要。優良な空き家を、借り上げて活用できませんか？
55	ケアラー・ヤングケアラーがどのような経緯でなっているのかわからず、困っていることもあまり想像がつかないので、どう支援したらいいのかわかりません。 ケアラー・ヤングケアラー制度を周知してほしいと思います。
56	ケアラー・ヤングケアラーがよく分からない
57	ケアラー・ヤングケアラーという言葉が普通の人にはわからない。定義を読んでもボランティアの一つかなと思ってしまう。基本的には親兄弟親戚等、血縁の親族を世話介護している人の呼び名とわかった。親の介護、老々介護、障害を持つ子供の介護…本人でないとわからない大変な仕事と思う。このネーミングは明るいボランティアというイメージで真剣みが伝わらない。きちんと漢字でふさわしい語句で表記すべきと思う。
58	ケアラー・ヤングケアラーという言葉が理解しにくいと感じます。日本では「ケア」という言葉が介護と結びつきにくいからです。状況に応じて「無償介護者」など言い方を変えることも必要だと思います。
59	ケアラー・ヤングケアラーという言葉の意味も知らなかったし、聞いたこともなかった。まずは、周知徹底や理解に努めてもらいたい。 またヤングケアラーは学習単位制にすることが出来るなど積極的な取り組みの出来る制度設計にしていきたい。そして具体的な支援について検討いただきたい。 そのほか、一般成人がケアラーの活動を行う上で経済的支援についても配慮いただきたい。
60	ケアラー・ヤングケアラーという言葉やその問題を、今回のアンケートで初めて知ったため、施策によって問題の周知や改善がなされればいいなと思う。
61	ケアラー・ヤングケアラーとの相談窓口・広場を設ける企画を策定して欲しい。
62	ケアラー・ヤングケアラーについて勉強します。
63	ケアラー・ヤングケアラーにとって、行政の理解と支援は、心強いはずなので、彼らの声に耳を傾けてほしい。
64	ケアラー・ヤングケアラーに関して、アンケートに答える中で知識が増えました。
65	ケアラー・ヤングケアラーに寄り添った支援対策をしてほしいです。支援者が、マニュアルに頼りすぎると、ケアラー・ヤングケアラーとの信頼関係を築くのが困難になる場合があります。
66	ケアラー・ヤングケアラーのことがよくわからない。
67	ケアラー・ヤングケアラーの具体的なイメージが湧かないのでトンチンカンかもしれないが、福祉（介護・看護）とのすみ分けはどのようになっているのかわからない。 自助・共助・公助のどの分野に該当するのだろうかかわからない。
68	ケアラー・ヤングケアラーの負担を軽減するためにも、公的介護、支援制度の一層の充実が望まれます。
69	ケアラー・ヤングケアラーの用語、意味が分からないので意見できない。

70	ケアラー・ヤングケアラーはどこにでも必ずいることを前提に考えなくてはなりません。特に学校では教員や他の生徒がヤングケアラーについてあまり知らず、ヤングケアラーを孤立に追いやっている面があるので、まずそうした点の解消を目的として理解を深める施策を実施してほしいです。
71	ケアラー・ヤングケアラーへの生活環境や経済的支援体制の充実
72	ケアラー・ヤングケアラーを支援するケアマネージャーのような制度ができればよいと思います。
73	ケアラー・ヤングケアラー支援は重要だと思います。
74	ケアラー・ヤングケアラー支援施策に対して、現状を知ることからは始めたい。
75	ケアラー・ヤングケアラー支援体制について ①民生委員が地域を把握し、行政・保健所・社会福祉協議会等に報告申請の担当窓口の設置 ②町会・自治会・婦人会等地域を把握し、行政・保健所・社会福祉協議会等に報告申請 ③学生等は勉学に優先できる体制・支援づくりの構築。
76	ケアラーが何なのかがよく分からないので、まずそれを広める事からが大事だと思う。
77	ケアラーへの支援が増えるような施策が実施されることを期待します。
78	ケアラーが悩み事などを相談しやすい環境を作してほしいです。
79	ケアラーが必要だと思う時に、すぐに必要なサポートをしてあげられる体制を整えること。
80	ケアラーが無くなるような社会保障ができないだろうか。
81	ケアラーたちの個人レベルでの努力に期待するよりも、公的な支援体制の整備が好ましいと思う。
82	ケアラーについての認知度が限定的な状況下にある感じ。
83	ケアラーって言葉自体が全く世の中に浸透してないと思うので、まずは認知されないとダメだと思う。少なくとも携帯の変換で一発で出ないくらいの単語なんだと言うことを、理解して考えていかないと。 そして、そもそもケアラーはともかくヤングケアラーなんて言葉がある時点で、この国における介護への支援が足りていない証拠なんだと思う。
84	ケアラーでしたら自分より年上かと思いますがヤングケアラーは子供や孫に当たると思います。自分が亡くなった後は誰が面倒みるのか死ぬに死ねないと思います。
85	ケアラーではなく日本語にした方がいい
86	ケアラーという言葉にどうも馴染めません。
87	ケアラーという言葉を広めること 認知されてないと思う
88	ケアラーという言葉を知った。コロナ禍の中、在宅勤務が増えているのでケアラーの負担は増しているのではないかと思う。ケアラーが孤立しないように、ケアラー同士のコミュニティなどで情報や気持ちの共有ができるようになるといいと思う。
89	ケアラーという言葉を知りました。とてもわかりにくいです。既存の言葉で言えないのでしょうか？
90	ケアラーという言葉を知ったというだけで精いっぱい現状 意見など言えるように取り組みたい
91	ケアラーという言葉を知ったことがなかった 行政がもっと把握すべきだと思った 本当に支援が必要な所には届いていないことが多すぎる
92	ケアラーという言葉自体に違和感を感じます。日本語で表現してもよいと思います。
93	ケアラーという言葉自体を今回 初めて知った。 今回知り得た情報からでも 支援は必要だと認識したが、内容について知らないことが多いので具体的な有効な支援内容は思いつけなかった。 まずは ケアラーの言葉の認知度と内容の周知、理解が必要だと思います。
94	ケアラーについて、どんな内容なのか、もっと情報が欲しいし、周知活動をしてほしい。
95	ケアラーとかの呼称ではなく日本語の呼称に出来ないものか？
96	一般的に家族のケアをするのは大変。ご近所やら民生委員やら訪問介護などなどの専門職の力も借りたい。 ご近所同士の関係が一番大切なことだと思うのだが…。
97	ケアラーとヤングケアラーという言葉は、まだまだ世に広まっていないと思います。それなので、計画策定を機に、県内にこの言葉が広がってほしいと思います。
98	ケアラーという言葉の普及が広まらないと難しいのでは。誰が対象で窓口がどこかも広めて欲しい。今後支援が必要な方は増えていくので、早めに地域でも協力できるシステム作りが必要だと思います。
99	ケアラーという言葉を知らなかっただけで、自分がケアラーでした。父が要介護3だったので、週2回はデイサービスに通わせて頂きましたが、それでも入院費用・施設利用料金で、金銭的に厳しくなるし、デイサービスに行ってる時間に、普段出来ない全ての事をやらなくちゃいけないので、精神的にもきつくなりました。結果、お金さえあれば…って思考になりますね。”支援=ただではない”って事をほんとに思い知らされました。これがヤングケアラー…なんて状況だったら…地獄以外の言葉が思い付きません。とにかく、金銭的な理由でサービスを受けられないから、自分がやるしかない!!ってだけで介護してる方がほとんどだと思うので、負担のかからないサービスを増やして欲しい。

100	ケアラーなんて初めて聞いた言葉ですが、まさしく私もケアラーです。知的障害のある息子を持ち高齢の義父の世話もしています。仕事もしているため忙しい毎日です。例えば、介護保険の利用で父の世話をほんの数分してもらうことは可能ですが、同居していればその程度の世話はケアラーで賄えます。ケアラーの希望を聞いてもらえたら、ケアラーがしている家事の補助をお願いしたいです。例えば、家事代行業者利用への補助金なんてありがたいです。
101	ケアラーについて理解できていない為、今は分かりません
102	ケアラーについて理解できていませんので特にありません。
103	ケアラーに注意を向けていませんでした。ケアラーが何をしてほしいのかを、聞いたほうがいいのか、よくわかりません。ケアラーの状況や要望をもっとアピールすれば、ケアラーに注意をもつ人が増えると思います。支援も増えると思います。
104	ケアラーの実態を知らない人の方が多いと思うので、その辺からもっと公に説明してもらいたい。
105	ケアラーの情報がホームページのどこにあるか分かりやすくしてほしい。
106	ケアラーの早期発見の仕組みと円滑な支援体制の仕組みの充実
107	ケアラーの方たちもとっても大変だと思います。無理なく頑張っ欲しいですし、大変なときには、遠慮なく支援を求めたらよいと思います
108	ケアラーの方に少しでも自分の時間を持ってもらえるような支援施策が効果的だと思います。特に睡眠時間すら確保できないような人には、1日でも良いのでおもいきり寝てもらえるような支援ができることに期待したいです。
109	ケアラーの方は、せいぜいボランティア活動をしている自分に比べ頭の下がる思いです。その存在、活動内容、課題などを広報などで広く周知させていただきたい。
110	ケアラーの役割のイメージが無いのでわからない。
111	ケアラーは心身ともに疲れています。何とか気の持ちよう頑張っていますが時間の余裕が必要です。
112	ケアラーは正直、あまり詳しくは分からないが、今後、詳細を知り、何かしらの支援が出来ればと思う。
113	ケアラーは其れなりの事情で行うが「ヤングケアラー」は本人の意思に関係なく行わざるを得ない、と云う状況に有る。社会全体で支援する方法を考えなければならない。その為には、まず「学校」で教えなければならない。「中学生から」
114	ケアラーは独立していてもよいのではないかと 事業団体に入っていることは必要条件ではないと思う
115	介護等を親族などの一般人に押し付けるのは、その人の自由を激しく制限するものである。ケアラー自体に問題がある。介護センターなど施設での介護や、訪問介護など、専門職の人の介護を支援していくべき。
116	ケアラーやヤングケアラーへの介護支援の輪が有る事をもっと社会に周知させ、彼らの働きがいや、やる気を支援することが大切だと思います。
117	ケアラーやヤングケアラーがいなくて済む社会の仕組みが作られることを期待します。ケアラーやヤングケアラーに代わって、ケアをする人や組織など。
118	ケアラーやヤングケアラーの方々疲弊して追い込まれる事が無い支援策等の策定をよろしくお願いします。
119	ケアラーを、より手厚くサポートする体制が必要だと思います。 育児もそうですが、人は一人で他の人の世話を出来る程の力は持っていないので…
120	ケアラーを孤立させない支援体制の確立。
121	ケアラーを周知させること。 仕事や学業へ差し障りの無い社会体制作り。
122	ケアラーを初めて知りました。 今の居住地は高齢化が進みケアラー支援を必要とする地域です
123	ケアラー支援よりも、安価で開放的な、設備の整っている老人ホームを建設した方が良いのでは?と思ったりする。年金の金額で入所できる老人ホームが現実的で良いのだが。
124	ケアラー支援施策の充実を期待している。
125	ケアラー支援条例が制定されたことは画期的だと思います!コロナでケアラーの負担が重くなっているとの報道を見ます。必要な福祉サービスの充実をお願いします。同時に県民や企業との連携に向けた告知や体制作りもお願いします。
126	ケアラー自身が助けを求めるとを躊躇うケースが多くあると思うので、ケアラーについて多くの人に知ってもらい、周りから助けてあげる仕組みがあると良いと思いました。
127	ケアラー同士が息抜きができる場を作る。
128	ケアラー本人の人生を充実させることができるようにサポート体制が必要。若い方は人生が決まる大切な時期なので特に必要だと思います。
129	ケアを必要としている人が多くいるということを伝えていく必要があると思う。
130	こういった聞き慣れない新しい取り組みなどに、カタカナ、アルファベットの略称が流行っているが、表記からイメージしやすいもの(こと)、そうでないもの(こと)もある。行政機関においてははできることや範囲に限界もあると思うが、周知の仕方、身近な日常生活において、誰もが分かりやすい内容を働きかけていくこともポイントだと感じる。
131	こういった方々に経済的な支援がなされているかを知らないで、周知する必要があると思う。 県内に、要介護者が何人いて、ケアラーが何人で、いくらの公的資金で賄われているかを、県民の多くが知ることが出来る様に、広報関係者に考えてもらいたい。

132	このアンケートでケアラーという言葉を知りました。誰もが知っていて当たり前となるよう、もっと周知すべきです。 広報やポスティング、公共施設、駅、学校、職場、量販店など。 ケアラーには経済的な不安が無い様、支援を手厚くして欲しい。お金さえあれば、介護から解放されます。 介護や支援が必要な人を受け入れる受け皿をしっかり確保して欲しい。
133	この意味不明なカタカナ語の語源は英語ですか？和製英語ですか？妙なカタカナ語を造語すると、大切な情報の浸透拡散の障害になりかねません。
134	この言葉は、初めて聞きましたので、意見や要望は気づかないできました。
135	この支援制度についてもっと知る機会を得たい
136	この様な方がいて、どの様なことで困っているのかがわからない。
137	これがいい制度なのかどうか疑問。
138	これからどんどん高齢者が増えていくので、公的支援はどんどん必要性が増すと思う。
139	これからの時代にはマッチしている
140	これからは、ヤングケアラーの力が今まで以上に必要になるのでは・・・
141	これからますます増えてくると思うので支援を手厚くして欲しい。また子育てをしながらのケアラーもいると思う。その際の預け先などが簡単に見つけられるようになって欲しい。
142	これからますます増えて行くと思う。
143	これから一番求められると思います。 支援が必要だと思えます。
144	これから興味を持っていきたいと思うので、情報提供に努めてほしいです
145	これから増えると思われるし、表面化しにくい繊細な部分もあると思われるので、様々な方法で助けを求められるような、細やかなサービスや支援の充実を期待したいと思えます。
146	これから理解を深めたい
147	これこそ、正に共助。自治会組織をベースに支援体制作りを図るべきでしょうか。
148	コロナが流行るほど不自由さが増すと思う。周囲も持ち込まないようにとの配慮から支援がしにくくなる。
149	コロナの初めのころを考えると、大地震や災害の時、ヘルプの要請がつかない時に、命に係わるレベルから水食糧電源の支援など、トリアージして、身近で声がけ支援ができる人員を前もって配置しておくこと。 防災パンフレットが元気な人むけで、自分がケアラーのヘルプをする場合とかの知識が盛り込まれてない。 役所の全員に一年に一月の福祉業務のヘルプを研修として義務付ける。
150	コロナ禍でこういった家族、家庭が孤立しないよう周囲でサポート出来る取り組みがますます必要だと感じました。
151	サポートしてくれる行政施設が増えることが大切だと思います。個人間でできることは限られていると思います。
152	サポート体制
153	スクールカウンセラーをしている関係上、学校に来ないで家の仕事、家族の看病や世話をしている子供たちを見ている。ケアラーという概念が存在していることを、広く世間に知ってもらい、理解を深めることの必要性を強く感じます。
154	ずっとお世話に追われて自分のしたいことが犠牲になるのは哀れです。経済的支援は必要だと思います。
155	ケアラーについて認識しておりません。
156	ぜひサポートしてあげてほしい
157	そとにできるきかいをふやしてあげる
158	そのような立場にある人がどこにどれくらいいるかを把握し、公的に支援できることは行い、周りの人の理解やサポートが得られるように啓蒙活動も必要だと思う。ワンオペ状態が普通にならない社会を望む。
159	その人の人生がガタガタに崩れないように支える仕組みがほしいと思います。 誰もが当事者になりうるという意識を持っていないといけない事柄なので。
160	その人を周囲が理解することが大事。その人が周りに数人にだけでもいいから話せるのが大事。そのきっかけとして、小学校のソーシャルワーカー、ソーシャルアシスタント、スクールカウンセラーのような人が身近に用意されている必要がある。
161	その方達がストレスを抱え込まないような体制作りを期待します。
162	それを事業として起こして、サポートする、ような事業が起こればいい、と思います
163	ちょっと勉強します
164	つい先日まで仕事をしていましたのでできませんでしたが、機会があれば協力したいです。
165	できることに協力したい
166	テレビでヤングケアラーという存在を知りました。 学校バイトを終えてから、買い物食事作り、家事。 将来に希望を描く余裕もないのだろうと考えると、とても苦しい気持ちになりました。 まずは自治体による現状把握、サポート体制、実際に支援をして孤立させない事が一歩かと思えます。
167	テレビでヤングケアラーの特集をみたとき、児童虐待では？と思うような場面がいくつもありました。早急な対策を望みます。
168	どういう支援が必要なのか、提示されると良い。

169	どうにかしたいと思っても 最終判断は親や本人以外になってしまう。どんなに良いように言っても 無駄になる時がある。
170	どこでだれがという、情報の共有化を促進する。
171	とにかくケアは大変 あらゆる人達が支えないと続かない
172	とにかく行政がしっかりと金を出せ
173	どの様な状態の人がどこにいるかなどの情報を行政が適切に把握して、近隣への周知を本人含め行ってゆく。
174	どれも欲しい施策は並んでいるけれど、人的/経済的にこれからの日本ではムリ。少なくとも自分の時には無理だと思っています。
175	どんなことをする方々かよく理解できないため適切な回答ができません
176	なぜ、若い人だけに注目する意味が分からない。なぜでしょう。
177	なぜ「ケアラー」とか「ヤング・・・」とかカタカナにしてしまうのか分からない。要するに「高齢者」や「障害者」を社会全体で面倒見る必要があるのに、それを家族に押しつけて特別なものとして社会から隔離するにはマスコミにとってもちょうど良い言葉かもしれない。現実にかような方達の人生が抜き差しならないものになっているのなら、県の主要施策として事業だてし予算を付けて、専門職員を大幅に増やして、こういった言葉がなくなるような社会を実現しなければならない。
178	ネーミングが変。支援については浅くてもいいので幅広く支援してほしい。
179	ネットやSNSを利用して幅広く情報提供をすることが必要だと思います。
180	公的な場所に相談しに来た方がいた場合、最後まで（サービスに繋がるまで）同じ担当者が関わって良いサービスに繋げていただけると良いと思う。せっかく相談に行っても、いつも違う担当者が対応するため一から話さなければならないのは、日常を苦しく過ごしている相談者にとってはとてもしんどいだろうと思うので。一から話すことに疲れ、相談さえ出来なくなり1人で抱え込む人が増えないようにしたい。 近所の人を支えるのは、残念ながら今の時代ではうまく行かないことが多いと思う。様々な人が使える制度を整えたり、使えるサービスを増やすのが良いのではないのでしょうか。
181	ボランティアという言葉が曲解されている日本において【ケアラー】というネーミングに若干の抵抗を感じる。 家族サービスという言葉も、英語圏の人にすると非常に変な言葉とされている。 国際社会に近づこうとするのであれば、また、アメリカに住んでいた経験のある私から見ると、変な日本人に見られるだろう。 また、ケアをするという【スピリット】ができていない日本国において、名前だけが独り歩きしないようにしてもらいたいものだ。 民生児童委員である私が言えることは【行政連携】であることと、所属人であることは、活動の上で、責任と信頼度が違うと思われる。 それなりの勉強や講習後に、証明できるIDの発行などをすべきと思われる。
182	ボランティア団体、グループ同士の連携、相互協力が出来、それへの支援、助言などが出来ればいいなと思います。
183	まず、ケアラー・ヤングケアラーという言葉が社会に定着させること。 地域社会・隣人ができる支援を具体的に把握できる体制や情報システムを作ること。
184	まず、こういう言葉があることを知らなかった ケアラー支援があることも知らなかった 公共機関だけでなく、病院やスーパー・SNSなど、もっと目に見えるところでも発信してほしい
185	まずは、自宅で介護している方からの率直な困り事を見える化し広く情報共有する。
186	まずは現実を周囲が知るところからが始まりのように思うので、広くこの話題が周知されるような活動が必要かもしれない。
187	まずは現状をよく知ること、広く広報活動をしてほしい。
188	まずは公的な援助の整備、そしてそれについて必要な人に情報がいくような仕組み（例えば、学校が相談・情報提供の役割を担うとか、ケアラーから相談があるのを待つのではなくアウトリーチの仕組み）を整えて活用できるようになってほしい。
189	まずは広く認知させる事が必要なのではないのでしょうか。
190	まずは行政から活動や支援の内容を市町村や自治体・学校などに広めていく事と、ケアラー・ヤングケアラーの方が相談しやすい組織も必要かと思われます。
191	まずは実態を調査してどれぐらいの人がこの状況下にいるのかを調べて、ニーズにあったものを提供してほしい。 若い人が学びの場が奪われないようにしてほしい。
192	まずは周知徹底の上、活動しやすい環境が必要
193	まずは情報の提供が肝心
194	まずは当事者の皆さんの声を聴き、実態を地域、社会が認知することが大事だと思います。 行政にはそのコーディネイト役を担っていただきたいです。
195	まずは認知度の向上かと思いました。
196	まず存在や問題点の周知が大切かと思っています。
197	まず多くの人に実態を知ってもらう
198	まだまだ浸透していない言葉だと思います。広く周知などをしてたくさんの人に知ってもらう機会が増えたらいいと思います。

199	まだ認知度が低い。 色々な場面で認知度を上げてほしい。学校教育だけでなく、事業所(特に中小零細企業)などへの広報活動も積極的にやって欲しい。
200	みんなが知っていなければならないことと思いましたが。わたしはよく知らなかったので。知ってもらうためのことを先ずはしないと。
201	みんなの心の中まで幸せである世の中になって欲しいです!
202	もう少し、ケアラーのことを行政が積極的に啓蒙活動してほしい。
203	もし 私の身近にそんな人がいたら相談には乗れると思いますが具体的には分かりません。
204	もっと、世の人に知ってもらうこと。ケアラーが孤立することのないよう、支援すること。
205	もっともっと社会的にケアラー、ヤングケアラーという言葉を知り、浸透させた方がまず良いと思います。 社会的に認知、浸透されれば、国をはじめとした行政機関からの公的な支援(経済的なもの、人的なものも含めた支援)が得られるとは思いますが。
206	もっと広く広報して救済して頂きたいと思います。
207	もっと広く広報活動
208	もっと広報活動をすべきだ
209	もっと告知し広く情報が提供されるようにしてほしい
210	もっと支援の輪が広がるといいと思う。
211	もっと自治体が広報活動をしてほしいと思います。
212	もっと周知されるような取り組みが大事だと思う。その上で心も身体もケアしてあげる必要があると思う。
213	もっと周知をした方が良い
214	もっと充実してほしい。
215	もっと情報を流して多くの人に知って欲しい。
216	もっと世間にケアラー、ヤングケアラーがいる事を周知させるべき。 金銭的にも精神的にもダメージが大きいイメージなので、身近な人の知識が増えれば精神的な面でのサポートもできるのでは?
217	もっと認知されることが必要。
218	もっと勉強したいと思います。
219	ケアラーさん自身を助けやすい社会環境が必要だと思います。
220	やはり、金銭面でのサポートが必要だと思います。
221	やはりケアラーは、とても大変です。とにかく、少しでも、そのケアラーやヤングケアラーが、孤立しないように、周囲でサポートできるシステムができればと思います。
222	ヤングケアラーについて地元市では聞いた事が無い為、もっと行政からの情報発信をお願いします。
223	ヤングケアラーが心配です。こういう立場の子どもが出ることで、もう日本って終わってるなあと考えた。介護の点数を上げて、賃金アップを図れば、今仕事が無い人もこういう仕事にシフトできると思う。
224	ヤングケアラーだけでも17万人いるとは驚きましたがまずはケアラー支援に軸足を置いて福祉サービスの充実化をすべきかと思いました。
225	ヤングケアラーであることで、進路が限定されない社会になるといいなと思います。
226	ヤングケアラーという言葉が生まれてしまうこと自体とても悲しいことだと考えます。 私自身ケアラーであり、まだ幼い娘は将来ヤングケアラーとなる可能性がかなり高いです。 相談にのりますよ、というのは支援側にとっては取り組みやすいものだと思いますが、結局は大変さは変わらず、何も解決しないので、疎外感を余計に強めてしまうこともあります。私がそうです。 もっと具体的に、ケアを代わります、決まった時間内ですが、気にせずゆっくりしてくださいという支援が一番ありがたいです。
227	ヤングケアラーと開示できる環境であって欲しいですね。
228	ヤングケアラーについては、そのような仕事を担わなければならない子を作らないことが、まず一番だと思います。学校に行ったり、子供らしい生活を送ったりすることに全力投球させてあげられるよう制度を見直すべきだと思います。
229	ヤングケアラーについては早急に調査して、学業や仕事に支障がない支援が必要と思う。 介護そのものや金銭的な支援などを充実させて、未来のある若者が困らないようにしてあげることが大切と思う。 また元ヤングケアラーについても希望に応じて大学や専門学校などで学べるような支援をしてほしいと思う。
230	ヤングケアラーには特に支援を厚くしてほしいと思いましたが。学校の先生や周りの友達からの理解が得られるように、孤立しないように、ケアラー同士つながれる場や気軽に相談できる場があればいいと思います。
231	ヤングケアラーに対しては早急に対策してあげて欲しいです。
232	ヤングケアラーの存在を世の中の人により多く知ってもらうべきだ。
233	ヤングケアラーの負担がないように経済的な軽減と福祉サービスの充実が必要だと思います。
234	ヤングケアラーは、最近知ったが問題だと思う。ケアラー自身の未来に深刻な影響が出ると思うので

235	ヤングケアラーは社会に役に立ちたいと願う大切な存在であるためその啓蒙や福祉的なオリエンテーションが必要
236	ヤングケアラーは本人のこれからの生活に影響が大きすぎると思います 金銭的に相談できる所があると良いと思います
237	ヤングケアラーを如何に早期に把握するか。
238	ヤングケアラー自体知らない
239	ヤングケアラー重点対策要望。
240	ヤングケアラー等の言葉が共通語になるような社会をつくりたい。
241	よくあるサポーター講座などを開催して、少しでも理解者を増やし、余裕のある時間に、ボランティアができる仕組みづくりがあるとよい。
242	よくわからないので、情報が欲しいです。
243	よくわかりませんが、彼らの励みになるような最低限の金銭的報酬の必要があると思います。
244	リンク先の【ケアラー（介護者等）支援】内、【ブックシェルフ埼玉】の漫画を読みました。 昭和の時代ならともかく、ご近所付き合いが過疎化している現代社会では難しい部分も多いな...と読んでいて思いましたが、こんな世の中だったらいいなあと思いました。 漫画内でもありましたが、認知症について小学校で啓発活動したり、幼少期から正しく知る機会があることで、ケアラー・ヤングケアラーの方への理解につながっていくと思います。 とっかかりとしてこういった漫画、もっと多くの世代の人に読まれるといいなと思います。
245	レスパイト、預かり・サービスの充実
246	前提として、福祉は自助や、自己負担、自己責任などで実施されるべきではないと思う
247	わかりにくい言葉なので、日本語で表現してほしい。 なんとか支援員とか、相談員とか。
248	わたしのように知らない者もいると思うので広報紙などでも取り上げて欲しいと思います
249	安い金額で福祉サービスを受けられる制度が普及して欲しい。(公費負担を大きくしてほしい) 家族介護は大変なので積極的にサービスを利用しましょうという呼びかけをCMやポスターなどで強く呼びかけて欲しい。 近隣に助けさせるという考え方ではなく、税金を利用してケアラーの人々に余暇やサービスを提供して欲しい。低所得者かつ労働時間の多い若者たちの善意に頼っているようでは変わらないと思う。みんな自分のことで精一杯なので…。
250	安い費用で面倒を見て貰える事
251	以前勤めていた中学校で、母親が入院したため家事全般を引き受けた女子が欠席していた。そのまま不登校になったようだが、女の子という理由で通学できなくなったのなら、複数の人権問題になるだろう。昨年国立女性教育会館のフェスティバルで、最大の関心が「ヤングケアラー」という発言があったが、コロナでその後の報告を聞いていない。もう何でも家族で抱える時代ではない。病気が精神疾患ならより深刻で、専門の支援機関が必要になるだろう。一般への認知も含め早急に対策をしてほしい。
252	一時的にでも定期的にでも休息がとれるようにしてほしい。 離職してなくても大丈夫な仕組み、または離職しても再就職出きるような仕組みを作って欲しい。
253	一人でサポートするのではなくて、できるだけ多数の人が分担して、支援していくことが必要です。一人でするとすぐ疲れてできなくなります。
254	一人で頑張ってしまう人が多いと思うので、そうならないように様々なサービスがあることをもっと周知してほしい。
255	一人で悩ませすぎない、追い込まないような支援ができるとよい。相談できる機関や人が必要に思います。
256	一人ひとりの負担減らすためには知識がない人に行う障害や介助方法に関する研修の徹底と賃金の値上げなどが必要だと思います 多くの人に働いてもらう機会を増やすため障害に関する無料講座の開講やイベントや介助方法などをSNS等での発信何とか必要だと思います。 個人の家に対するリフォームの補助金額を増やすことでケアラーの負担は減ると思います
257	一人暮らしのお年寄りへの支援など、ケアラーの方による支援の輪が広がるようにして欲しいと思います。
258	一般県民の認知度があまり高いとは云えないので、例えばテレ玉の「埼玉ビジネスウォッチ」など機会を捉えて、広報に力を入れて欲しい。
259	どんな支援が必要かどうか考えたい。
260	一番の不安は将来への不安だと思うので、金銭的な援助をお願いしたい。
261	英語表記でcarerとなるのか？初めて聞く単語だ。私も英検二級ぐらいの英語力だがこんなわかりにくい言葉を使うのはやめたほうがいい。
262	援助だけでは解決にならないので自立を目指して欲しい
263	遠くの方より、同じ町内(家の近所)でそういう案件があった場合、より身近に感じやすいと思うので、きちんと間に入ってサポートできる環境を作れば良いと思う。

264	何で、敢えてカタカナ語にするのか理解できない。中身の充実しない名前だけのカタカナ語は止めるべき。これからは老人の介護が増えこそすれ減らない。この目の前の現実から、現在の介護について、公的機関ではここまでしかできないという事を明確にした方がよい。県としてはこの範囲、各市町村ではこの範囲という具合にしないと、老人としても困る。そして同時に、民間としての介護事業者をしっかりと育てる。
265	何も困ることがない生活を支援すること。
266	何らかの公的な経済支援方法があった方がいいと思う。
267	家族の介護のために、その子供が家事や弟妹の育児まで行くと学業との両立は難しいと思います。生活保護だけでなく、家事支援、学業支援など、公的援助が必要だと思います。
268	家族の介護は、本当に大変だと思いますので、行政と地域が、一緒になって支援することが、必要だと考えます。
269	家族の支援は必須。子供の支援ではなく、その親の支援をしないといけない!親にゆとりがないから子供にいくので、親の支援です!親が気づいていないで子供が犠牲になっている場合が多い。見えてないだけで、蓋を開ければ沢山いるはずですよ。
270	家族介護をしている人もケアラーだと思う。ケアラーのやるべきことなどを明文化し一般に配布したら如何ですか?ケアラーの言葉は初めて聞きました。必要なことだと思いますから広く啓蒙したら如何かと思います。
271	経済的な支援はヤングケアラーには届いていない。
272	介護するために仕事に行けない 休息が持てない人がたくさんいます そのためには介護士、看護師の増員と給料や待遇を良くすることが一番ではないかと思えます。
273	介護のために家族が必要以上に負担を強いられる世の中は、そろそろ改めるべきと思う。地域のつながりも弱くなっている昨今、放置すれば自殺や心中などにも繋がりがねないと思う。また、18歳未満でそのような立場に置かれている子が、法律で規定して助けなければならないほど存在している、というのは、先進国としてどうかと思った(知らなかった私も私だが)。子供から学ぶ機会を奪うのは、未来の日本にとってどうなのか。ヤングケアラーについては、できるだけ早くそんな用語が必要なくなるよう、対応しなければと思う。私もできる限り協力したい。
274	介護のために離職した者です。仕事との両立は難しく、疲れてしまい、離職を選択しました。いざ介護生活一本となると、思いもよらず違う疲れが・・幸い同じように介護をしている方と知り合い、話をするようになり、いろいろと教えていただきました。大変さや辛さをわかってくれる人が必要だと思います。心的、身体的、物理的に寄り添う支援施策とケアラー・ヤングケアラーに対する理解が広まることを期待します。
275	介護は拘束時間が長く、身動きが取れない。 継続的な支援が必要。
276	介護も大切でしょうがケアラー・ヤングケアラーの人生が介護で食い潰されれば社会の損失です。 諸外国(欧米・南米・アフリカ等)の家族介護の現状や常識を周知徹底しては如何でしょうか? 因みにそういう国々では家族が介護する習慣が稀であり老後も含めて人生が悉く自己責任です。 私自身子供の世話になる気も有りません。 非介護者が自費でケアサービスを受けること(自助)が大原則です。 互助にしてもそういう人間関係を築くことも人が寄ってくる財産を築くことも自己責任です。 それを公助で補足すべきであって公助がメインであってはいけません。
277	介護をしていると社会との繋がりがなくなり、時々それが不安になります。働きたいと思っても通院や身の回りのサポートで中々フルタイムでの時間が取れなかったり、決まったシフトに入るのが難しいです。やはり日常の介護とは別に社会との繋がりが持てる仕事がほしいです。
278	介護休暇の期間は無給になるのを恐れる人も多いはずなので、国や自治体等から収入が補償される制度をつくってほしい。 介護しながら働くパートタイムや派遣労働者は、就職活動や自己研鑽に時間を取れず、収入を上げるのはとても難しい。公的制度で介護を肩代わりしながらその時間で資格取得等を促したり、就職活動を手厚くサポートする水先案内人が必要。
279	介護経験者達が社協の助けを借りて介護者サロンを月一回のペースで開いていたが新規の参加者が増えず十数年続いた活動を昨年終了した。介護を忘れてほっとできる場を本当に必要としているケアラーは時間が自由にならないことが多くサロンへの出席が難しい。介護スタッフ以外の人との交流が可能な環境を作らないと、共倒れや虐待はなくならないように感じる。
280	介護施設が少ないので、増やしていただきたい。
281	介護者が孤独にならないような施策が、実施されるように期待しています。
282	介護者とケアラーの区別がよく判らないが、高齢者の増加がこの手の問題を増幅させていると思うので、自分がどういう老後を送れば良いかかなり悩む
283	介護専門家は高額なイメージがあります。 依頼することで経済的負担が大きくなるように、行政等でのバックアップが必要。 そして、介護専門家の人員不足。もっと多くなるように、そちらも行政等での支援が必要かと。
284	介護保険料の未収を解消し、財政を立て直し、支援に役立てられる仕組みにしていく。

285	介護予防サポーターとして活動しているが、無償ボランティアだったのが最近有償ボランティアになってしまった。以前のようにボランティアでやっているよと声をかけにくくなってしまった。無償で活動している方への支援として、経済支援はありがたいと思うかもしれないが、自分としては賛成できない。無償の人的サポートを充実させるべきではと思う。
286	介護離職した人に対しての、再就職支援が必要。介護離職に対する理解が社会的に広まっていない
287	介護離職などによって若手の人生がうまくいなくなることや、精神的に参ってしまうことが、可能な限り無いようにしてもらいたい。
288	介護離職による、経済への影響も大きい。そして、ヤングケアラーの立場の子どもたちにとっては、人生の選択肢にも大きく影響することであり、今すぐ対策をしてほしい。ただし、自分の身内を大切に思っているだろうし、「ケアを代わってほしい」というだけの要望にはならないはず。実際に、ケアラーの立場の人の思いをすくい、多様な支援を用意できると良いと思う。
289	介護料金が安くなって、利用しやすい制度になれば良いと思う。
290	解放してあげるべき
291	皆で支え合っていきたいですね
292	各家庭で解決するのではなく、社会的に周りの人を巻き込んで支援することで孤立化を防げよう
293	核家族化して困っている方や相談したくとも相談できない方が多いと思います。地域でも制度について学べる機会があれば良いと思います。
294	隔月程度のケアラー広報に支援制度紹介や、ケアラー自身の行動もしくは周囲からの支援で好感事例紹介など、町内会回覧や市の広報紙に掲載することで、ケアラーのメンタル維持の他、周囲の関心高揚に役立つ。また、継続によって何れもマスメディアに取り上げられるなど、ケアラーのモチベーション維持につながる。
295	学ぶ時間、場所を確保して欲しい。 介護の経験は、とても良い経験のはず。 人に寄り添う、気持ちに気付くなど、職場でも大切です。接客業には必要不可欠です。 ぜひ、就活に役立てて欲しい。 企業にそこのところを見るように促して欲しい。
296	学業がおろそかになりがちだとおもうので、学業優先にできるようサポート体制をくんでいってほしい。 精神面のサポートとして、相談窓口があることを学校でお伝えしてほしい。 尊い行いであること、尊敬するに値することを学校で伝えつつ、ひとりで抱えないように話してほしい。
297	学校、会社などの社会環境で、もっとこの言葉が浸透するようにすれば良いかと思う。
298	楽できる方法を教える！みんながそうしていることを伝える。
299	活用できる支援の情報を知る機会が増えること
300	看護、介護の事が、後々家族間のもめ事になっているのを身内で経験しています。 行政のサービスは利用できても、トラブルなどで孤立しがちだと思います。 精神的ケアで頼れる制度があったらいいと思いました。
301	看護師、介護士の報酬が他の職種に比べ低いと思います。更にケアラー、ヤングケアラーに無償でということは厳しいと思います。自助、共助、だけでなく公助を最優先にしないとだめです。
302	頑張っている人が報われるような制度であると良いと思います
303	基本は経済的支援だと感じる
304	基本的には自分の家族は自助だと思うが、共助が無いと悲しい結果になる可能性が充分あると思うので、早く見つけてあげる努力は市や町でやるべきと考えます。
305	嬉しいこと、つらいことを口に出して、わからない私たちにも教えてほしいです。
306	寄付等できる機会が増えれば良いと思う
307	機会の増加と支援体制の充実
308	気をつけてみていこうと思いました。 問10や11が実施されれば助かる人は随分いると思いました。
309	気軽な気持ちで参画すると、負担が増えて抜けなくなるという懸念があり、一歩前に踏み出すことができなくなる。 町内会や自治体の、期間限定などからスタートすると 負担が大きければ1年で終わるので協力しやすくなる。
310	気軽に相談、親身になって相談にのってくれる場が必要だと思います。
311	気軽に相談できるような仕組みづくりが必要なのではと思います。 いろんなケースがありそうなので、いろんなことを経験し懐の深い高齢者が適任なように感じています。
312	気軽に相談できる環境、人、支援が必要。アフターケアが必要。
313	共助として地域でのサポート
314	共倒れにならないような社会整備。
315	協力出来ることがあれば力になりたい
316	金。まずは金。介護してたらお金稼げないから。 あと介護施設。預けっぱなしにできれば働ける。 介護は生活費が月30万あればできる。
317	金銭的支援が重要だと思う。

318	具体的な行動などを広める必要があると思います。
319	具体的な支援体制の整備のためにケアラー・ヤングケアラーから意見を聞くようにする事。
320	具体的な人数の把握、ケアラーの実情を吸い上げて、早急に対応しなければならない事と、長期的に支援が必要な事を分けて、人手不足等はボランティアを募ったりするなどの街ぐるみの対応が必要だと思う。
321	具体的な対応の技術・方法・法や制度の情報が欲しい。 また、周囲への周知をしてもらうことで、緊急時に、多くの目が注がれることを期待したい。
322	具体的にどのような活動を実施されているのかがなかなか見えてこないの、いろいろな機会にメディアなどでその活動を人々に紹介する広報活動をもっと積極的に行うことが重要ではないか？
323	具体的に食事の世話などを支援できる体制が必要。老人介護の体制を援用できるのではないか。
324	経験者として感じるのは、特にヤングケアラーには、精神的負担が大きい場合があるので、その辺のメンタルケアも考えて欲しいと感じます
325	経済支援が必要だと思います。
326	経済支援を工夫してすすめていただければよいと思います。
327	経済的、時間的負担を軽減する工夫が必要。
328	経済的、将来への不安、勉強などその人のタイプに合わせて柔軟に対応してあげてほしい。
329	経済的なこと時間的なことを公的機関や地域でサポートしてあげて下さい。
330	経済的な支援が受けれるといいと思う。
331	経済的な支援と行政の福祉サービスが大切だと思います。言い方が悪いですが家族のことで自分の生活を潰されるのはおかしいと思います。大学の同期に、親から命令されて祖母の介護をせざるを得ず、学校を休むしかなかった子がいます。ヤングケアラーは存在してはいけないと私は考えています。未来があるのは、そしてこれからの日本を作るのは若者なので。もっと彼らが頼れる場を、私たちの税金で作ってください。
332	経済的な支援を充実して下さい。
333	経済的な不安をなくしてあげてほしい。
334	経済的な面が心配です。
335	経済的に、最大限のサポートを、ケアラー・ヤングケアラーに準備してください。 メンタル面より、経済面でのサポートが、一番わかりやすいサポートです。 理屈より、経済的援助です。
336	経済的に自立できるようにしてください。 教育が受けられるように、または就職につけるようお願いしたい。
337	経済的支援
338	経済的支援、当事者が利用しやすいアナウンス
339	経済的支援が1番重要かとおもいます。
340	経済的支援がとても必要だと思います。思うように働けないと収入がなく、生活に困窮するのはあきらかです。税金の支払いの免除や給付金など、経済的支援によってまずは生活を成り立たせてあげることが大事かと思ひます。特にヤングケアラーの方には、将来に希望をみだせるような教育面でも支援をしてあげることが必要なのではないかと思います。
341	経済的支援や企業や学校の柔軟な対応が必要とされると思います。ぜひ行政からも支援の制度をお願いできればと思います。一方で、裕福な人からの寄付金制度（税控除付き）なども十分に拡充・周知されるとよいと思います。
342	経済的支援を含めた支援制度の確立。
343	結局お金の無い人達が困るので施設入居の補助金など
344	県として積極的に支援して欲しいです。
345	県として明確なメッセージ、取り組みを可視化して欲しい
346	県の条例を受けて、市町村で推進することが重要である。
347	県民個々では支援は難しいと思います。 県・市町村が組織的に対策する必要があります。 まずは、現状の正確な把握から。
348	元気な年寄りがヤングケアラーの事をもっと知り、若者と話し合える機会があれば、若い仲間同士の励まし合いに手を貸せるのではないかと思います。
349	現在そういう立場にいる方達から広く意見を聞いて、それに柔軟に対応できるサービスを提供して欲しいです。
350	現在家族の介護に手いっぱい考える余裕がない
351	現在未就学児がいるので自分のまわりにケアラーがいたとしても特別なことはできないと回答しましたが、もしも自分に何かあって子どもがヤングケアラーになったときのことを考えると、ちゃんと子どもだけの自分の時間を確保して欲しいと思いますし、そのための仕組みができればいいと思いました。
352	現状、何人程度ケアラーがいるのかも分からないので、そのような情報があれば公開してほしいです。
353	現状と課題の説明を聞きたい。
354	言うは易く行うは難しです。日本ではどうしても人の手助けをうけるということは相手に対して負荷をかけるというような後ろめたい感覚があります。そうした部分を変えていくことが重要だと思います。

355	言葉に日本語を。 何がケアラーですか。きれいごとすぎる。介護している側はまわりを見ている余裕なんかない。(無かった。)
356	言葉ばかりが先歩きしてあまり知られていないように思います。県民が使いやすいものになるよう願っています。
357	言葉もよくわからないので、具体的にどうこう言えないのですが、身近な人に相談されたら話を聞くぐらいはできるようになりたいです。そのうえで、どういう解決策があるのかを一緒に考えられるよう、行政だとどこに相談すればいいのかななどの知識は身につけたいです。
358	言葉を広めていく
359	言葉自体を初めて聞いた上、本アンケート上ではイメージがわかかなかった。 なので周知活動をもっとしたほうが良いと思います。
360	個々のケアラー・ヤングケアラーの困っていることなどよく聞き、支援に反映させること。
361	個人では限界があるので、やはりきめ細かい公的な援助に頼らざるのではないのかなと思う。
362	個人情報と言って家庭内の情報が町内や隣り近所でも不明な点が多く、付き合いが希薄な現代特有な状況を憂えています、せめて町内会くらいは家族状況(男女・年齢等の調査はもしもに備え必須なのではと考えます。
363	個人情報なので難しいが 地域での介護を要する世帯の把握をする。
364	個人的な支援も必要と思うが、行政としてしっかり支援をしてほしい。
365	個別の案件でプライベートなところはどうしたら良いか？ プライバシーの保護はどうしたら良いか？ 安心して支援が実現できるようにお願い申し上げます。 事務的な対応は避け下さい。 相手の立場になって相談窓口でご提案ください。
366	個別の事案に真摯に対応してもらいたい
367	孤独にさせない事がまずは必要だと思います。
368	孤独にならないように
369	孤独等にならず、同じ環境に居る人たちでお話し合いが出来ると良いのではないのでしょうか。
370	孤立させない、自分だけが背負うのではなく、大人が放らないと教えてあげられる支援を厚く希望します。
371	孤立させないこと。 その為に、官民のアイデアや方法を考えたい……
372	孤立させないようにする事。 周りには人がいるという事を忘れさせない。 誰も助けてくれないと思わせない事だと思います。
373	孤立させない支援が大事。
374	孤立を避けるための相談窓口は充実させた方が良い。
375	孤立状態に陥らないよう、遠慮しないこと。
376	雇用など社会的進出のための支援を積極的に行ったほうが良いと思う。
377	公助が第一、行政がしっかり支援し、足りない部分は共助。
378	公的サービスなど、特に出向いてサービスの申請をしなければならないことが非常に負担に感じている印象。内容も複雑で、ヤングケアラーには知り得ない情報が沢山あるので、学校や普段利用している病院や福祉施設などからサービスの申請が出来たらいいのではと思う。 また、ヤングケアラーという存在自体、子供の権利を害していると考えています。未成年は自分の幸せについて、将来について、ゆっくり無邪気に考える権利があるので、その点を守ってあげられる方法を確保していきたい。
379	公的な介護がどのように関与するのか関わりを知りたい。
380	公的介護制度の充実が前提で、私的ケアが成り立つと思います。
381	公的支援をお願いします。
382	公的資金から 経済的支援、職場や学校に理解して貰い易いよう 証明書等の発行
383	広い世代に周知が必要。 まだまだ認知度も低いと思う。
384	広く認識が高まり誰でも気軽に利用できるような状態になれば最高です。
385	広く認識するための機会を多くするような施策があると良い。
386	広報などで、広くたくさんの情報を知らせる
387	広報紙でも載せたり少しずつでも様々な方の耳に入り知っていただける機会が増えていくといいなあと思います
388	行政サービスの充実、福祉団体・個人による応援ができないかと思っています。ただしプライバシー保護の観点から、申し出がなかったり、遠慮していたりという方もいるでしょう。どのようにして、必要な人・困っている人を確認するかが課題ではないかと思っています。
389	行政に頼ることが決して悪いことではないことを広めていくと良いと思います。
390	行政のウオッチが必要と思う。
391	行政の金融対応、制度対応。
392	行政の指導を期待する。
393	行政の支援は必要かと思っています。 ボランティアだけでは難しいかと思っています。

394	行政の相談サービスがあっても、自ら相談に行けないケースが多いと思う。行政の方からケアラー、ヤングケアラーに手を伸ばすことが大切だと思う。また、経済的な支援がないと、相談のみでは不安の解消にならないと思う。ケアラー同士のコミュニティを作ること大事だが、そこでの人間関係(上下関係、マウンティング等)がかえってストレスになる場合もあるので注意が必要だと思う。
395	行政の把握力の向上
396	講座や相談できるコミュニティーがあるといいなと思います。
397	講座等の集まりを多くして欲しい
398	高齢が受ける方と支援する側とも今後進むと思いますから、若い世代の支援が本当に必要になると思います。この支援施策の必要性をもっと世の中に理解する周知徹底が急務だと思います、どうも埼玉県は素晴らしい制度を策定しても、行動が徹底しないお役所体質があります。それと継続性が全くありません、一定の成果があるとすぐ辞めてしましますから。
399	高齢化が進む一方で、家族が面倒を見切れなくなっている現状もあり、ケアラー制度はより重要な位置づけになってくると思うので、制度や活動内容、実情についてもっと知らしめるべきだと思います。
400	高齢化社会ではケアラー・ヤングケアラーは大切だと思います。
401	高齢化社会に於いて、最も重要な問題であるにも関わらず、国の施策に真剣さを感じる事はない。 この件に限らず、困っている人を助けるのが「当たり前」だった、ちょっと前の我が国のあり様を、思い出す所から始めてはどうだろうか。
402	高齢化社会に行政が、積極的に援助してほしい。勿論、我々も協力を惜しまない。
403	高齢者・障害者を抱えている家族をピックアップして具体的に県として何ができるかを理解してもらい支援策を講ずればと思います
404	高齢者を活用したいなら、高齢者に資格でも与えないと求められないし、応じることが困難。単なるボランティアでは相手にされない。(講習会の受講で知識を与えるなどの制度必要。)
405	国にきちんと認識してもらいたい。
406	国の支援体制
407	国や自治体が主体的にケアすべきであって、ヤングケアラー(の支援)というのは本来あっていけないものだと思います。
408	国や地方自治体に支援が行き届かない、きめ細やかな支援はケアラーの皆さんに委ねるところ大で有り、これらの連携した対応が求められると思う。ケアラーの役割や実態が世の中で認知され、評価され、県民がその存在を正しく知ることが原点と思う。ボランティア精神の基本を大切にしたい支援施策が必要だ。
409	今は、まだ思い浮かばないが、自分は介護されるほうの年齢に近いので、ケアラーの人に迷惑をかけないような、システムになってほしいと思う。
410	今は個人情報に厳しいので 経済的な面も役場的な関係者でないと困っていてもわかりにくいと思う。行政が声をかけるしかないのではないかと
411	今回のアンケートでケアラーについて初めて知りました。社会的認知度がどれほどかは分かりませんが、支援条例を見ても多岐にわたり分かりづらいです。分かりやすい広報を期待します。
412	今回のアンケートで初めて言葉を知りました。恐らくそういう人が沢山いると思います。なので、まずはそういった人達がいることの周知をして、一般的に介護職の報酬が低いこともあるので、経済的補助を県が率先してやっていただくと、ケアラーの方達の希望になるのかなと思います。
413	今回の質問がわかりにくい ケアラーが他人をケアする人で、そのケアラーを助けてほしいですか？って質問してどうするんでしょう？ ケアラーやヤングケアラーの支援、はわかりにくい 介護支援者への手助け、では駄目なんですか？
414	今回はよくわからないことへのアンケートでしたので、もっとケアラーについて知識を吸収する場があってもいいと思いました。
415	今回初めてケアラー・ヤングケアラーという言葉を知りました。
416	今後もっとケアラー・ヤングケアラーの知名度を増やし、介護や障害者のケアをする人たちが増える環境作りが必要だと思います。
417	今後高齢社会となる中で、ケアラーやヤングケアラーの皆さんへの経済的な支援策を進めて欲しい。
418	困ったときはお互い様なので、是非元気なうちはお手伝いしたいと思います。 最近子供が大きくなり手がかからなくなったので、副業でも思っていましたがこのようなサポートもいいのかなと思いました。
419	困ったときはもちろんのこと、日常的に支援できたら良いと思います。
420	困った時に相談できる窓口を作って、周知いただきたい。
421	困っている者同士で話し合える場所、機会があればいいと思う。 もちろん、コロナのなか直接会うのも難しいから、ネット交流も立ち上げてみたらいかかかと。
422	根本が分からないため、どの様に考え、動くべきか分かりません。
423	最近ガンでも長期間入院させてくれず、在宅の介護に誘導されるそうです。訪問介護をもっと充実して負担が減るようにして欲しいです。
424	埼玉県ケアラー支援条例の名称が、その趣旨の啓発活動を阻んでいるパラドックスだ

425	埼玉県ケアラー支援条例を読みました。具体的に何を助言し情宣するのか判らない。Q&Aの掲示で十分な様に感じます。コロナで傷んだ自治体の財政ですから、政策は優先順位を付けて実施してもらいたい。
426	埼玉県が細かいところまで気がつく、素晴らしい県だとよくわかりました。サポート体制をしっかり作り上げ、他県にも発信して下さい。
427	埼玉県では全国に先駆け「ケアラー支援条例」が成立したと聞いています。まだまだ専門以外の一般県民には理解が浸透していないと思います。「安心かつ健康（精神・体）」維持するため支援対策講習など教育も必要かと思っています。
428	埼玉県として、どのような支援を行っているかについて、広くアピール。使える制度として、確立してほしい。
429	埼玉県の条例に期待。早くこれが模範規範となって市町村に降りてくることを期待している。
430	埼玉県は、要支援該当者等に関する必要な情報提供に努め、問題提起をしてほしい。
431	仕事柄（子育て支援、保育等）をしているので、お話を伺う機会は多いです。ただ、繋げる社会資源が少なく、かと言って全てを私がサポートするのは、自分の生活に支障が出ます。ケアラーの支援の出来る人材、その人材をサポートする期間が必要だと感じます。公的支援に自治体差が有りすぎるので、自治体間の連携もして欲しいです。
432	仕組みに無理があると思います。
433	子どもが親のケアをしなければならず、学びや成長の機会を奪われるなどということは絶対にあってはならない。他人が無償で他人の世話をしなければいけない状況も（ボランティアは別として）おかしな話。介護のプロを雇うための経済的支援が必要と考える。
434	子育てもそうなのですがとにかく孤立させないことかなと思います。ケアラーさんがケアから少しでも離れて息抜きできるような仕組みを提供してあげてほしいと思います。
435	子育て同様、孤立しない環境作りをして欲しいです
436	市や県などの支援の整備をして欲しい。
437	市政がどこまでできるか、というのはお金の問題もあるので、ボランティアで支援できる人をつなげたり、橋渡しの役割をしてほしい。こういったアンケートで私も「ケアラー」のことを知れたので、こういったことが地道だが必要だと思う。
438	市民が健康で文化的な最低限度の生活を営むことができる環境を整えるのは行政の役割だと考えます。経済格差の広がりや長寿命化に伴う健康寿命との乖離など、今後さらに拡大することが想定される分野であるとも考えます。資源が限られているのは確かですが、ケアラー・ヤングケアラー支援の分野においても渦中の人たちが不利益を被ることのないように支援をしていただきたいです。決して「自助」という言葉だけでは片付けられない問題です。
439	思い詰めた時に相談ができる体制が整うことを期待します
440	思った以上にたくさんいると思われるケアラー、ヤングケアラーの実態について、大学等の協力を得て実態調査を行ったり、民間事業者でノウハウを持った機関と連携し、相談に乗ったり、具体的な支援事業を調整してほしい。
441	支援が必要ないように充分気を付ける
442	支援する専門職の賃金向上が必要かと思っています。低賃金、重労働のイメージがあり、報酬と仕事量が合わないから人員不足ではないかと思っています。もっと給与を上げてください。（国でも県でも利用者に対する支援金だけでなく、支援者への支援も必要だと思います。）
443	支援が当たり前になることを期待します。
444	支援は必要だと思う。施策の認知度を広めることも重要。
445	支援をするボランティア（？）をさらに支援というのがよくわからない。ケアラー・ヤングケアラーの存在意義はわかるが、そこに人とお金をかけてさらに支援をするのであれば最初から有料で有資格者を使えばいいのでは？
446	支援を受ける方々が何を望むのかにより支援が出来るかどうかだと思いますが？
447	支援施策について、知識が乏しいので、もう少し、知識習得に努めたいと思います。
448	支援施策関連者及びその周辺関係者の現状把握と初歩からの幅広い理解と実践
449	施設などを作って、社会全体でケアすべき人をケアして行く体制が必要ではないかと思っています。
450	施設を増やしてほしい。
451	私がケアラーやヤングケアラーについて全く知りませんでしたので、皆さんがどの位の言葉や制度を知っているのかなど、自分の知識をベースにして考えてしまいます。私のような後期高齢者に近いものには、知ったところで何もできないと思いますが、若い人の参加を期待して、行政のPRをもっとお願いいたします。
452	私が読んだ記事のヤングケアラーは周りには話さず、自分の生活を犠牲にして母親の世話をしているというものでした。今回埼玉でも支援計画がある事を知り少し安心しました。全てのヤングケアラーに何らかの支援が届き、彼らが学習、部活など普通の生活ができる事を望みます。
453	私の周辺を見ても年配者が多く周囲の手助けはあまり期待できないと思います。県や市による担当者の拡充を期待します。

454	私の弟がアスペルガー障害で精神的な不自由を持っており、なかなか社会への順応ができず、就労できずにいます。精神障害を持った人間に対する周りの人間の理解が不足しているため、生きづらい社会が形成されてしまっている現状があります。仕事ができる能力がありながらも、職場での理解が乏しいことにより、就労が長続きしなくなり、就労すること自体に自信を失い、就労することができない、といった悪循環を生んでしまっているのです。その点健常者のケアラー・ヤングケアラーへの理解を深める施策、またケアラー・ヤングケアラーが最大限、社会への参加が行える様、施策を行って頂きたいと思います。
455	私の得意！や出来る！ことで、誰かのサポートが出来たら良いなあと考えています。
456	私の娘はアメリカの高校に行きました。アメリカの高校では病院のボランティアを一定期間すると授業を受けたと同じ単位がもらえるそうです。娘も病院に行きました。いい経験だったのでしょね。帰国してやおら医学部に行き、医者になりました。若いうちの経験はとてもその後の人生に役立ちます。日本の高校でも社会ボランティアを単位に加えてはどうでしょうか？
457	私は身体障害者なのですが、ケアラーである母のことが常に気になっています。一人で外を歩けないので週2で病院に付き添ってもらっているのですが、負担ではないか、負担になったら誰かに任せられないか、それを相談する相手はいないのか考えています。ですから要望としまして、「最近負担になってきて……」と気軽に話せる相手がいたらいいなと思っています。よろしくお願いします。
458	私も、まもなくケアされる身。子供達にける迷惑を最小限にしたいと希望している。社会保障制度とは、こういうことの筈。消費税の使い方が間違っている……
459	私も地域包括センターに相談してみようと思います。
460	私自身 未成年の頃 母が具合悪い等で家ではいろいろ大変でした しかし 学校では泣き言もいえない状況で また勉強だのスポーツだの教員は期待したり やれやれ言いますが私の気持ちなど一切気が付きませんでした 学問やスポーツなどをするにも 基本的な生活の安定 がとても大切だと感じます 未成年の場合は特にそここの保障が必要だと思います 最近 埼玉県は ヤングケアラーのことなど前向きにやっといこうとされていて埼玉県もなかなかいいな と感じています
461	私自身、介護者です。ケアラーとかヤングケアラーとかカタカナ文字に言い換える風潮に、不快感を覚えます。 行政と医療でサポートすべきなのに、民間のボランティアに期待するような質問内容にはガッカリです。 税金をちゃんと投入して、行政の支援を充実させるように真剣に対応して下さい。
462	私自身がケアラーです。でも最近まで自覚していませんでした。こういう定義があることを、もっと広めて頂きたいです。ヤングケアラーだと広報紙なんて見ませんし、なおさらだと思えます。支援する方も大変かと思いますが、頑張ってください！
463	私自身がケアラーに値する生活を送っているのでもなんとも言いようがない
464	私自身も将来は介護される立場になるかもしれません。支援施策については質問10・11の項目を推進していくことだと思います。
465	私自身も難病者です。コロナ禍で話を聞いてくれるのは家族と病院の先生と同じ病気を持っている方とのLINE会話。安心して話しを聞いてもらえる人、病気を理解してくれる方とは新規にまだ出会っていません。 そういう相談できる相手が近くにいたらいいなと思います。
466	私自身も良くわからないので、もっと広く浸透するようにして欲しい。
467	私自身誰にもどこにも相談できる人がいないと一人だと考えすぎて鬱のようになってしまった。今は薬をのんでいるのでまじけど結局どこにも相談できる場所がない誰もいないというのが辛いのでいつでも相談できる場所があるのは良い。でも病気によってサークル？のようになっていたり自分は当てはまらないのでは？と思うと相談もできないので幅広い行政の相談できる場所があれば一番良いのでは？
468	時間の援助を期待したい
469	時間を与えることは難しいですが、時間を買えるようにすることは比較的容易です。それはすなわち、経済的支援だと思います。 行政は、ケアラー・ヤングケアラーに経済的支援する事を、速やかに検討して下さい。
470	時間面、金銭面、精神的支援を充実させないといけないと思う。
471	自己時間の確保・就業促進事業・生活扶助の拡充・ケアラー講習・メンタルヘルス・登録制度で連携強化等
472	自治体が、相談窓口を広げていつでも相談に乗れる体制を取っていく
473	自治体が現状を把握してくるよう民生委員などが情報収集後に学校とも連携を。
474	自治体の支援がもっとあっても良いと思います。そういう事に税金を使ってほしいです。
475	自助、互助、共助、公助のバランスが取れた政策を打ち出してもらいたい。
476	自身も来月からケアラーになりそうです。今から考えてもうまく生活できそうにないので、楽観的に過ごせればと思っはいますが。機会があれば専門家のお話も聞いてみたいとおもいます。できればリモートで。
477	自宅でのケアの手助けになる助言を行う、中核的な施設が必要ではないでしょうか。具体的なヘルプの内容は今思いつきません。
478	自分が介護が必要な高齢者と同居中ですが、今のところ自分で出来る事も多くて、週3日のデイサービスに通う事で、自分の仕事等に影響が出ない状況を保っています。しかし、子供がまだ中学生なので、どうしても子供を優先したい気持ちが強く、休日に自由に外出できない点で不便を感じます。

479	自分が現在ケアラーなので気軽に同じ境遇の方々と話せる機会が定期的であればいいなと思う(孤独を感じやすいため)
480	自分で出来ることには、限界があり、多くの社会的支援が必要と考えます。公的支援、そこには経済的支援や相談相手などの精神的支援が必要と思います。
481	自分で抱え込まないように、気軽に相談できる機会を増やしてほしい。
482	自分に出来そうにないので他の人に頑張ってもらいたい、
483	自分の経験を生かして、手伝いたい。
484	自分の子どもがヤングケアラーになるのではないかと心配になる。 親も相談できる場所が必要なのではないか
485	自分の時間を作ってもらう支援
486	自分の若い時を考えるととても無理。下手に混乱させないほうが良いのではないか。
487	自分の年齢・体力等から、能動的支援の提案は難しいが、受動的支援には応じたい意識は有り、それを見出だす機会を模索したい。
488	自分の両親を今ケアしなくてはいけなくなるとすると、経済的支援が1番助かります。なぜなら私は私で生活しているけど小さい子供がいるので1人ではどうしても全てのケアは出来ないと思うからです。 それにはデイサービスや施設等の利用が必須ですが、料金が高いと聞いています。施設等の入所費用など私には払う経済能力がないので、経済的支援を期待します。
489	自分もケアラーとなる日が来るかもしれない。 その場合に、何をどうしたらよいか、相談できるところがすぐあるとよいと思った
490	自分を含め、家族がケアラーです。このコロナでショートステイの利用を施設がお休みしますとのことで利用できず、デイサービスのみのため、仕事が休みがちになっている家族がいます。今までのようにショートステイやそれに代わるサービスを受けられると少し違うのですが。
491	自分自身が障害を持っているので、ケアをしていただく立場に近いです。その立場で言えば、話を聞いてもらえることが一番だと感じます。
492	自分自身も大学に通いつつ祖母の介護をしていた時期があります。まずこうしてヤングケアラーの存在を行政が認知していることに正直感激しました。社会的認知度はまだ少ないと思いますが、学業と介護を両立しながら生活している人もいるということを積極的に社会に理解してもらえよう、認知度を高めてもらえると良いのかなと思います。 自分がケアに従事していたとき、自分の周りに「介護をしながら学校に通っている」という似た状況の人がおらず、相談したり理解してもらったりすることが難しく、大変孤独を感じていました。同じ状況の人が身の回りにいることはヤングケアラーとなれば稀なケースかなと思います。当事者としては同じような状況の人で集まれる場があると良いと思います。また当事者以外でも、ヤングケアラーの存在を知る機会を設けることで、配慮や気遣いがしやすくなったり当事者の孤独を解消できるきっかけになったりするのではないかと思います。
493	自分自身介護が必要な母がいるので、ケアの大変さはよくわかります。何がベストなのか、考える日々です。
494	自由になれる時間を作ってあげることが大事だと思います。
495	失業したケアラーへの経済的援助。
496	質問10、11の支援策が必要と思いますが、困っていることの情報を社会に発信して欲しい。
497	質問10と11の違いが気になりました。ヤングであろうが、経済的支援が、まず必要なのではないですか。お金がなくて生活に困るのがいちばん最初にくる問題だと思いますが。
498	質問12で書いたことが現実だと思うが、本来は困っている人、助けが必要な人が気兼ねなく声を上げられたり頼れたりした方が、全ての人に暮らしやすい世の中だと思う。まず知ることが大事で、そのような人たちが得やすい情報を行政が流すこと、そういうやり取りを多くの人が目の当たりにできるよう広報したり制度を整えて下さい。
499	実際にそういった人がいるのか、思いあたらない。話を聞いてみたいと思う。
500	実情を県民に広く知らしめること。 国は貧困の実態を社会問題として広く県民に明らかにする。
501	実態を知りたいです
502	社会への周知
503	社会人になる基盤を作る学業優先の時期にケアラーであることは、基本的にはあるべきでないことと考えるので、ヤングケアラーの家庭には迅速に公的な福祉サービスの提供が行われ、未成年者には十分な時間と余裕を持ち学校に行けるようにしてほしい。
504	社会全体での理解を広める活動が大事と考えます。広報活動に努めるよう希望します。
505	社会的な位置の明確化をして、会社員でもその為なら特別休暇が取れるような仕組みを作る。ある程度を作り理解浸透させる必要もあるのではないかと思います。
506	社会的支援体制の整備
507	社会的地位の向上
508	社会的・地域的にもっと広報する必要があるが、どんな支援等を希望しているのかも把握して、支援しやすい体制づくりも必要では
509	社会福祉制度や支援制度について知識が少なかったり、支援を求める方法も知らない可能性があります。相談を待つのではなく、学校から行政につないでもらうなど、支援を働きかけていく必要があるかと思います。 就労や就学の機会を逃した結果、介護者亡きあと、経済的・社会的に困窮することも考えられるため、そうしたことへのサポートも必要だと思います。

510	社会問題のひとつとして取り上げられる機会が増えることを望む。
511	若い人にとって介護は、勉強や労働の機会を奪われることになります。身近にそんな様子の人を知ったことがあります。介護に人生を奪われているような感じがして、とても辛く、悲しい気持ちになりました。介護施設は料金が高いため利用出来ない人がたくさんいます。「金のない老人をなぜ数少ない若者が介護するのか、若者は労働して結婚して子供を作れと言われるのに、そんな時間さえ奪われている」という恨みにさえ繋がる何かを感じました。しかし、解決策が何も浮かびません。私自身、将来親の介護をしたいと思います。身近な人に助けを求められるか、求めたところで助けてくれる人はいるのか、介護は何十年続くのか…。親を一切恨まずに介護する自信はないです。
512	若い人には家族の介護より勉強や将来の自分の事を頑張ってもらいたい。 介護される側も家族に頼るより専門業者または自身でできることを増やす努力をしてほしい。 何でもかんでも人に頼るのは良くないし、経済的損失の方が大きい。
513	若い人の力に期待しています。
514	若い世代が身内の介助・介護のために自分の仕事や勉強などに支障をきたさないで済むような仕組みができればいいと思います。家庭内でも特に未成年にそのような役目を押し付けることは避けるよう何か指針を出して欲しいです。 これから少子高齢化が進んでいくとケアを必要とする人の数も膨大になり、支えきれなくなるのではないのでしょうか。どこまでケアするべきでどこからはもう必要でないのか線引きをして、ある程度は諦めないと将来的に厳しいと思います。ケアされる人数やケアの内容自体を減らす以外に解決は難しいのでは。 私は自分に何かあったときに、子どもや孫に負担をかけたくありません。大切な誰かの犠牲のうえに生きていくことを考えると辛いので、自分が誰かの介助が無ければ生活できない状態になるまでに安楽死制度ができていけばいいと思います。
515	若い力が大切ですが、少しでも自立できることは行わせることも大切だと思います。
516	主に、ヤングケアラーに対しての経済的な支援をして頂けることを期待しています。また、その際の手続きを簡略化し、対象の学生にわかりやすく手を出しやすい状態にする必要もあると思います。 ヤングケアラーの経済的な不安を取り除けばケア及び学業に専念できるようになり、対象の家庭の負担は大幅に減ると考えるからです。 やはり、学生で日常生活に必要な費用を学業と両立して、賄うことは難しいのが現状です。ましてや、兄弟などがいる家庭では、莫大な費用が掛かってしまいます。そのような状況で経済的な支援をして頂けることは非常にありがたいことです。
517	手を挙げられない 挙げにくい方をどう見極めるか
518	種々の健康状態、身の回りの心配事、家族のなかの小さな問題等、あまり気にしない出来事が年齢を重ねると大きな問題となってしまうことがある。 支援施策としては大きな問題になる前に、如何に話を聞いてあげられるかと言う事が何よりも大切なことだと思います。行動支援も大切だが、心の支援も大切なことと思っている。
519	収入によって、介護サービスが出来るようにして欲しいです。 家族構成や持ち家があるとサービスが受け難い事もあると思います。 たいてい緊急を要するので、とりあえずサービスを受けられ、その後一人一人のライフプランを考えてあげる方が良くと思います。 例えば、知らなかったけど、調べたら貯金がけっこうあった！や制度が変わり年金をもらい忘れてた！家を売った場合の今後の生活プランを役所の方と一緒に考えてもらえた。 と言う風に、なれるのかと思います。
520	周りにケアラー等が居ないのでなんとも言えないが、きっとこれこれの支援が必要だろうとか、こうした方がいいだろうとか、勝手に判断されても困ると思う。やりたくてやっている人、やりたくないけどやらなきゃいけない人、色々いると思うので、個人的には、希望することがあれば助けを求め、それに答えてくれるような支援がいいと思う。基本的にはそっとしておいてほしい。
521	周りの人が気軽に相談出来る場が近くにあり、それが周知されていることがとても大事だと思います
522	周りの人に相談など出来やすい環境を作ること
523	周りの方々に理解して頂くことが大切だと思います。
524	周りの理解が深まり、共助が広がること
525	周囲に理解してあげられる環境整備が必要だと思います。 行政の発信力に期待します。 場合によってはクラウドファンディング等利用することも必要だと思います。
526	周知が必要
527	周知してもらおう。
528	周辺で気安く相談する環境が、最低限必要です。
529	集まりの集いサークルの実態を知る必要があるかと思っています。条例ができたのですがPRがないようです。広報に転載して実態PRしたらいいかでしょう。
530	十分な予算を付けてほしい。
531	初めて、聞きました。勉強になりました。
532	初めての言葉なのでこれから勉強します。
533	初めて経験する事ばかりなので気軽に相談できる施設があると良いと思います。
534	初めて聞いた言葉なので、これから理解したいと思っています。

535	初めて聞いた言葉なので、もっと広めてほしい
536	初めて聞いた文言から想像したのは、好きでやっているボランティアだと感じました。それに対して個人が支援する必要は感じません。
537	初めて聞く言葉で、イメージがつかめない。 もっと、日本語でわかる用語にできないのか？ 例：無償介護者、無償若年介護者
538	女性や学生児童に負担が偏らないよう気軽にアウトソーシングできる制度と理解と経済的補償が必要だと思います。 特にヤングケアラーは本来の学業などに支障がないよう学校側も対応してほしいです。
539	将来の事は考えたくない。 妻が私が要介護となった場合、自立しない娘・孫の生活も支える事が出来ない。 昔、寝たきり祖母の下の世話を5年（小5～中3）しました。介護とは精神と経済を疲れさせ暗くします。
540	小さい子供がいても役に立てるような支援対策があって欲しい。
541	小中学校で、状況を理解することができるような教育・授業があるとよいと思う。
542	少しでも出来ることがあれば行動したいと思ってる人が多いのではないかと思います。情報の拡散が必要だと思います。
543	少しでも負担が軽減されること
544	少子化対策としてもとても重要だと思う。未来を生きる不安要素としてのケアラーの負担を減らすことをしないと、若い世代が出産に負い目を感じるようになる気がする。
545	少子高齢化で「家族の面倒は家族で見る」という従来の価値観や政府の方針が実情に合っていないと感じています。福祉に関係する各部署が連携してケアラー・ヤングケアラーの負担軽減に取り組んでほしいです。
546	少子高齢化時代ですので、高齢者対策や障害者対策等の支援計画として、国や県や行政などで、厳しい時代ですが支援計画など推進されたい。ケアラー支援政策として地域の中から、資金カンパ等を継続して実施してもらいたい。
547	詳しくあまり知らないなので、広報とかにのせてほしい。
548	障害者の就労支援センターにつないでもらうと良いと思います。 県が予算をつけ、人材を配置してもらえるとさらに手厚いサポートができると思います。
549	障害者支援には興味があり、わずかながらですがボランティアで活動しています。ケアラーというと、仕事や学業に影響を与えるような、もっと大変な感じがします。 多くの人が高齢者や障害者支援に興味を持って取り組めるような体制を期待します。
550	町内会費からの援助も（待てよ！本人が気にして肩身が狭くなるかも）・・・やっぱり、国から援助が先か！
551	常にケアラー、被ケアラーの関係でなく、介護される側もできる範囲で自立したりケアする側に回れるようなしくみを作ること。
552	情報を取りやすくするために広報活動をもっと活発にしてほしい
553	情報を提供することがいいと思います
554	情報提供
555	情報発信が大事だと思います。
556	情報発信の掲示板などで、微力ながら、お手伝いは出来ると思います。そういう人が多いのではないかな、
557	新しいカタカナ語で表現することが必要なのではなく 従来からある 相談窓口を より充実させることが大事だと思う 民間の力を取り入れて思い切った改革をしないと 弱者を狙った犯罪が増えることになる
558	親が特養施設に入っても、医療行為ができないので肌身離さず携帯電話を持っていた。呼び出し音が鳴るたびに特養からの電話かと電話恐怖症気味になった。車で駆け付けなければならず酒を飲むこともできず、遠出もできなかった。親が亡くなった時、これで携帯電話から解放されるという安心感が大きかった。ケアを代わってあげることは難しいと感じる。
559	親であっても病院に連れて行くのにも少しでも賃金が発生した方が良いと思います。
560	親の老々介護を間近で見て、大変さが身に染みしました。 自分には家庭があり、子育てと仕事で思うように手助けできませんでした。 最終的には介護施設への入所という形になり、父の負担は軽減されましたが、費用も大きくなかなか実現しないケースも多いのではないかと思います。
561	親族の支援がいいかと思えます。
562	身近ではないため、わからない
563	身近にそのようなケースが無いのでわかりませんが、自分がケアを受ける立場に近い年齢なので、如何に健康寿命を延ばしPPK（ピンピンコロリ）でいけるよう身体と脳を維持するためジムや図書館に通っています。 ケアをできるだけ必要としないような予防のための施策も充実させる必要があるのではないのでしょうか。
564	身内で完結しようという今の制度がおかしい。介護はお金を払って、他人が行うべき。収入が増えるように、または福祉で無料で利用できるような仕組み作りが必要だと思う。

565	身内以外が介入する事は壁が大きいのではないのでしょうか。 やはりケアラーさん達は介護の経験者など気持ち分かる方と話をしたいのではないのでしょうか。無知な方との会話で逆に心を痛めていたりするので、誰でも支援ができるというのは違うような気がします。 また普段ケアラーが接する、訪問の看護師さん、介護士さん、リハビリの方、入浴の方、行政の方、そんな普段接する方の研修など、さらなる理解を深めていただきたいと思ます。
566	人の考えは様々なので、難しい問題と思うが、最後は互いに信頼の上に成り立つ事と感じる
567	人を1人介護するには、ある程度の金銭が必要だと思います。ヤングケアラーは特に収入がない環境下で、周りから孤立した状況に陥り心身共に疲弊してしまうのではないかと、心配です。未来ある若者が、世の中を期待できなくなることがないように、国で支え合いができるようになってほしい
568	人口が減少する中、高齢者が増え、手助けを必要とする人が多くなります。国民はそのことを認識し、人助け精神で助け合いをする社会になってほしいと思います。
569	制度自体をしらなかつた。県民に知らせるには市町村の広報紙に載せて貰うことが大切だと思う。
570	成人に満たない若年層については手厚い支援をしてあげて欲しい。弁護士や公的支援の相談窓口を設けることや、親と未成年で構成する二世帯の、実態調査を行い、支援必要な場合は公的機関が積極的に支援することなどが有効だと思う。なぜなら、本人もどのように対処したらいいかが思いつかず具体的な行動も立てられないため。主体的な行動を求めるのは無理がある。一方、成人していた場合は若年層とはいえ、公的機関側が積極的に動く支援までは不要。それよりも、手厚い情報提供をする手段（公的窓口を県報やHPほか）は必要だと思います。未成年の救済は速やかに取り組むべき重要な課題だと思います。
571	正直、ケアラー、ヤングケアラーというのを知らなかつた。 自分の周りに介護が必要な人がまだいないから、調べてもいなかったから。 これからのますます高齢化社会を迎えるにあたり、今まで以上に人と人との結びつきを強化していく必要があると思う。 ご近所付き合いや、地域イベントなどで。 日本人以外にも、日本に勉強に来ている外国人にも出来るような環境も作って行って欲しいと思っています。
572	正直、介護・看護・日常生活上の世話その他の援助を自らが同じ空間で365日24時間行わなければならないのは地獄です。 自分の時間が無く好きなことをしたり、休息するのは無理でどんどん追い詰められます。もうしたくない経験です。 介護保険制度もありますが、結局資産がないと施設に入れることは難しいです。病院に入れば医療費が多くかかります。 誰でも将来、介護・看護・日常生活上の世話その他の援助を受けることになります。 少子高齢化で財源が厳しい部分もありますが、もっと手厚くしないと、事件に発展したり、有職者が無職になったり不幸な事象が多く発生すると思います。 医療の発展での長寿化や安楽死制度が認められていない現在の状況が負の遺産となっていることを医療界・政府が認識していただき、県は手厚くサポートしていただきたいと思ます。
573	正直、他人が何ができるのかよくわかりません。
574	正直に言うと無償ではなり手がいないのではと思う それに補償がないのは、不測の事態が起きた時に不安もあると思う そこに対するフォローなどに疑問がある
575	生活支援
576	生活保護施策の充実と不要な生活保護者を増やさない。
577	精神的なケア～が一番良いのでは？ その後、経済支援等がピッタリかと？
578	精神的な苦痛緩和のための講習会等の実施です。助成金については企業が負担を充実すべきです。
579	精神的にも経済的にも追い詰められる。そこを救えるなにかがほしい。
580	精神的経済的に自分と家族の事だけで精一杯です。
581	精神的身体的にとっても疲れることだと思うので、相談されたら相談にのり、親切にしてあげて、ホッとできる時間を作ることが大切だと思います。
582	声をあげたり、相談、助けてと言える行政や、方法を教えてあげる。知らない事が多いと思う。一人で抱えていると思う。
583	税金をそちらの方に少し回して経済的余裕を作れないのかなと思う
584	昔と違い今はケアラーやヤングケアラーの存在が分かりにくい 自治体活動の一環として検討していくのも一法か
585	昔のムラのような社会全体で支える環境作りができるか。自営や農家のような自宅に家族が揃っている人が主体の集落でもなければ、それに近づける施策が必要だと思います。
586	積極的な行政の対応。
587	先日NHKニュースで、重症の母親を高校生くらいの子供が世話している実例が紹介されていて、その厳しい現実に関心を持ちました。特にヤングケアラーの場合は、自分の勉強や友達付き合いなどを犠牲にしたうえで日常の家事も行わなければならない、その負担は計り知れません。まずは家事の代行など、ケアラー・ヤングケアラーの負担を軽減できるしくみ（ヘルパーの派遣など）が必要だと思います。

588	専門家の領域であると思うので、専門家を医療関係者や福祉関係者から養成し支援にあてる方が得策だと思う。専門知識のないボランティアが携わるべきではないと思う。
589	専門介護職とケアラーの区分を明確にした混同のない支援
590	専門知識を備えたスタッフが必要であろう。冷静に対処できる人たちも必要です。
591	専門的な講習を受けなければできないのではないかと感じてしまう。 問題がおこったときに困る
592	戦前の隣組のような組織で地域の活動が出来ないか。
593	全くこの言葉自体知りませんでした。 しかし、今は横文字の言葉が多く理解不能です。 やさしい日本語表記はできないのでしょうか？ ピンときません。
594	全く初めて聞いた事でどうしたらいいのか、どこから情報をえるのかもわからない。
595	全国初の試みなんですね。昭和の時代ならば、ご近所の阿吽で成立したことが困難になってきたという現実を知る機会となりました。
596	早く助けて差し上げて欲しいのでよろしく願いいたします。
597	早期発見が大事だと思う。学校や職場で、家族の世話をしていると聞いて偉いと言うだけでなく、教員や上司などがケアしている人も大丈夫かと思う発想を広げてもらいたい。
598	早急な対応、対策が必要と考える
599	相談しやすい環境を作ってあげて欲しい。
600	相談員の育成。 相談所の開設。
601	相談窓口の拡充が必要だと思います
602	息抜きの日や機会を得られるようにする事。
603	続けていただきたい支援施策だと思います。
604	存在をもっとPRして欲しいですね。
605	存在を知らなかったので、実態を知りたいと思います。
606	他人にどこまで接し介入して良いかわからないし不安がある
607	多くの人に解るPRが必要と思います
608	多くの人に参加していただき色々な意見を頂きたい
609	多くの人に平等な支援を期待したい。
610	多方面からの意向に沿った支援をできる体制の構築。
611	体の自由が利かなくなってきたけど お話や悩みを聞いてあげることが出来る
612	対象者が具体的に何を求めているのか判らないと、行動ができないと思う。対象者の要望等について、周知できる体制の充実が必要だと思う。
613	対象者が自分の多少なりともとれるような支援をしてあげる事が心身ともリフレッシュできる機会を持ってもらえると考えます。
614	大変そうだが、政府や自治体を中心として、みんなで助けあってもらいたい。
615	大変な状況にいる人たちが等しく支援が受けられるよう、情報の格差が出ないよう、地域でどんな人がどんな状況に置かれているか把握できる繋がりを作れたらと思います。
616	大変素晴らしいことだと思いますが、条例とはいえ、「ケアラーを、高齢、身体上又は精神上の障害又は疾病等により援助を必要とする親族、友人、その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する方と定義しています。」という文章は意味がとりにくく、関心がない人をさらに遠ざけてしまうように思います。一般的には、例えば「何らかの事情があって日常生活を送ることが困難な方のケアをする人」として、細かいことは補足で書いた方がわかりやすいかと思います。
617	今回ケアラー・ヤングケアラーの条例が制定されたことを初めて知りました。これからは人口の減少、高齢化に突入しています。自分の事だけでなく、社会の困っている方に、すこしでもお役に立つよう目を向けたいと思います。
618	大変良い取り組みだと思います、できれば積極的に応援したい。
619	第一に、行政からの「経済的支援」、公助。ケア業務に従事するにも自身の生活、背景にいる家族などへの支援など、時間的、空間距離的に活動が可能になるように「経済的な支援」が最も望まれる。県、市町村の地方行政レベルではなく国レベルで厚生労働省が予算化すべき切迫した時期に来ている。
620	誰がケアラー・ヤングケアラーかわからないのが現状であり、困った事など相談があれば協力する。
621	知らない
622	知らない、全く知らない、人が多数存在している、と思います。活動の実態を県、市段階でPRをお願いしたい。
623	知らないことが多いのもっと発信してほしい
624	地域、行政で一体となって助け合えるシステムの構築
625	地域、町内で、お年寄りが増えるなか、またコロナ禍で、完全ボランティアで支援していくのは、限界があるように思います。 ある程度、気持ちの報酬や、割引券等の形のあるメリットは必要かなと思います。
626	地域での対応が必要だと思います。自治会でも情報を共有出来れば、地域皆で対応出来ます。個人情報観点からは無理でしょうか？
627	地域での発信が大切なのではないか。
628	地域で見守り
629	地域の人みんなで見守っていける体制づくりが大切だと思います。

630	地域の防犯防災活動に参加しており、年寄見守り隊へも参画しております。しかし、現在までのところ身近においてケアラーやヤングケアラーに関する話は聞いたり見たりした事はありません。知っているのは、毎日新聞の連載記事により知っている限りで、何をすればよいのかわからないのが現状です。 具体的な支援事例等の紹介広報があってもと思いました。
631	地域ポイント制をつくりケアラーを支援した人にポイントがもらえ、もらったポイントを何らかの形で地域で使えるようにする。
632	地域行政の中に「支援特別チーム」を設けて積極的にダイナミックに持続的に活動をする。
633	地域包括支援システムの普及に伴い皆のサポートがより重要となってきます。気軽に、極度の負担なく、周囲からの支援をいただける社会が来ることを願っています。 業務で居宅介護支援事業所のマネジメントをやっていながら無知で失礼致しました。
634	地元の民生委員が住民意識を高めていく、民生委員を押し付けられたとして活動していない町もある。
635	この言葉を初めて知りました。 今後、学びたいと思います。
636	定期的なPR活動を推進する事。
637	定期的なグループカウンセリングなど、悩み事を話せる機会
638	定期的に家庭訪問を行い、不安や介護疲れ等に対しての話を聞いたり、その家庭に合った介助の方法、利用できる施設等の紹介。 数年前まで市町村の介護保険の認定調査員をしていたが、ケアマネジャーの力量に差があり、親身に相談にのる人もいれば、予定表を渡して終わりの人もいました。支援する人に余裕が必要だと思えます。
639	電話でのやり取りや直接相談するという形に抵抗がある若者が多い なるべく該当する家族がいるならばこちらから声をかけてあげて欲しい 特に精神疾患がある家族を看ているケアラーは隠したいことが多く、家の者がみるのを当たり前という考えを親戚や周囲の人から言われても守ってあげられるような環境を作ってあげたい ただ、金銭管理などは市役所などがもっと簡単に利用できて相談できるようにしてもらわないと個人同士ではトラブルになりやすい
640	投げやりにならずに、どんどん使える施設等を使って欲しいと思う。
641	当事者がもっと地域社会の中で認識されて、かわりあえるよう双方を自治体が誘導したらどうか。
642	働きながらの介護は時短などの制度整備が必要
643	特に、ヤングケアラーに対しては公的且つ金銭面での手厚い支援は必要と考えます。
644	特にヤングケアラーについて、学校で把握できるように教職員に対する研修が必要だと思う。
645	特にヤングケアラーに対しては、できる限りの家事のサポートが安く受けられるようにして、学業に影響が出ないようにしてあげることが大切かと思えます。その子の将来まで影響がでるようになってはいけないと思えます。
646	特にヤングケアラーに対して支援が必要だと思えます。若いうちしか経験できないことがたくさんあります。勉強、クラブ活動、興味のあることないこと、たくさんの経験を積む時期だと思います。家事やケアの代行、サポートが必要です。どのような支援を受けることができるのか、具体的に支援を得るための手続きなど相談できる窓口が必要だと思えます。
647	特にヤングケアラーのサポートをしてあげてほしい。大事な青春時代と勉学に支障をきたさぬように。
648	特にヤングケアラーの方たちに対して、教育、仕事などの経済的支援の充実をお願いします。
649	特にヤングケアラーは社会全体でその介護を支えていくのだと意識改革を促していくことが重要。今後より一層の高齢化が進む中、意識改革は急務の課題だと思います。
650	特にヤングケアラーは本人の人生のために本人自身のために時間を使うことが非常に重要な時期なので、行政が手厚い支援をしてあげてほしいし、社会に貢献したいと思っている人は多いと思うので、そういうマッチングの機会もぜひ作ってほしいです。
651	篤志活動に対して感謝と敬意を払うのみ
652	内容がよく分かってません。
653	難しいので回答できません。
654	難しい問題です、良くわかりません。
655	難しい問題です。
656	日常生活の一部を、支援できる制度。 各個人の、時間に合わせて、支援がしやすい仕組み作り。
657	日本人のやさしさを大事に役に立たせたい
658	認知するために県民に伝えていく活動が必要だと思えます。

659	<p>認知症だった夫の母の介護をしており、昨年ようやく見送りました。同年代のママ友や自分の兄弟に介護に関する情報提供をしています。が、それ以上のことはしたいともしようとも思いません。ともすると人間関係を壊しかねないかなりデリケートで難しい問題だとわかっているからです。</p> <p>やはり公的機関などの第3者に相談にのっていただいたり、手伝っていただく方がお願いもしやすく、気兼ねもないように思います。実際私は義兄夫婦にまったく手伝いにも相談にもしてもらえずとても悲しく苦々しい思いを何度もしましたが、ケアマネジャー（担当者のあたりはずれは正直ありますが）さんにはずいぶん助けていただき、デイサービスや特養の施設の方々にはたいへんお世話になりましたとても有難かったのです。</p> <p>また以前勤めていた職場に高校中退で勤め始めたお嬢さんがいましたが、お兄さんが精神障害者でとても苦勞をしている話を聞きました。他人を殺めそうな様子もあり、とても不安そうでご家庭も崩壊の危機を迎えそうな話をしておりましたが、1か月もたらずに仕事を辞めてしまいました。おそらくご家庭の事情だったろうと思います。高校もそのお兄さんのことがあり中退したようで、彼女はほんとうにかわいそうでした。</p> <p>そもそもケアラーなんて名称がとても嫌いで受け入れられません、このコロナ禍で他人に手を貸せる人はとても経済的にまた時間的に恵まれた方々なのだろうと思います。私自身にはその余裕はありません。</p>
660	認知度が低いいため様々な施策を講じる足かせになってるのではないかと思います。
661	認知度が低すぎるので、学校でも話してほしい
662	認知度を高めてほしいと思いました。
663	認知度を高める
664	認知度を上げる事から始めたらいい。
665	年齢に関係なく、逃げ場所を作ることが肝要と思う。無年金者への支援も期待したい。
666	非常に大切な問題で全県民に理解してもらう必要があります。ケアを受ける人がますます増加していきますので、県民一人一人が元気なうちにケアの受け方、ケアラーへの支援をする必要性について理解しておくことが大切です。
667	非常に難しい社会問題です。少子高齢化、核家族化が進んでいることも背景にあると思います。地域ネットワークにおいてすら、最早「身近」となっていない現状を改善していくことが重要かと思えます。
668	非常に難しく、まずは情報収集・交換。人的支援もと思えます！。
669	非常に必要な状況だと思えます。
670	必要だと思えます。
671	必要なのはケアされるべき人にプロの支援が付き、ケアラーの負担が軽くなること。経済的・時間的・精神的に支えてもらえること。そして私のような当事者でない人は知る必要があるし、知れば助けられるかもしれない。知らないことはすれ違いや偏見につながるの、まずはその状況の捉え方や望ましい対応の仕方を広報して欲しい。当事者の考えや希望も広報されたい。行政支援窓口へのハードルが低くなるといい。
672	必要な知識や経験等をもっている人で、お手伝いできることがあったら、手伝える人がいるかも知れないので、広く支援を募れば助け合える機会が増えるかも知れません。
673	必要に迫られた上での現状であり、今に始まっている事ではなく昔から存在していたケアラー。こちらが困っていきそうだと思っても、余計なお世話的な感情を持つ人もいて声がかげ辛い。先方から自然に応援要請ができるような雰囲気が必要に感じる。
674	長期に支援ができる様な 仕組みが欲しいですね。
675	病気の方や障害者の介護を家族で行うのは限界があると思えます。実際に私の兄弟が自閉症で、今後家族でどのように面倒を見るのか心配で仕方がないです。また、県内の障害者向け入居施設も空きがないと聞いています。難しいことだとは思っていますが、入居施設やショートステイ施設の拡充を進めて頂きたいです。
676	部活とかやりたいだろうに介護で青春潰されるなんて少子高齢化の犠牲者ではないか。なんで給料も出ないのにそんなことしなきゃいけないのか。
677	福祉の問題として知られるべきで、介護が必要な人が介護を受けられる環境が必要なのではないかと。ましてや若年層が介護等において将来が限定される社会は間違っている。社会が守ってあげなければならないのではないかと。
678	福祉施策の充実が急務で、ケースバイケースの柔軟な支援が望ましい
679	福祉社会の充実。
680	福祉途上国日本の問題のひとつだと思いますが特に意見はございません。もし身の上に降りかかるようなことがあれば考えると思えます。
681	聞きなれない言葉だったので、勉強になりました。
682	勉強します。市報などで発信して欲しい
683	勉強不足を痛感しました。
684	報酬
685	法律の適用しか頭がないような人に検討させないようにお願いします。法律ではなく価値観で個別の判断が現場でできるような施策を期待します。今の日本は上から崩れていますので。
686	本当の意味でのボランティア活動ですので活動に対しての心からの支援が必要に思えます
687	未成年が親の介護などをすることが社会問題になってることは以前から知っていたが、「ヤングケアラー」という言葉は初めて聞いた

688	民生委員や区長など、地域担当で権限のある方にも頑張っていたきたい。
689	民生員や教員、警官、自警団、自治会、役所、ボランティアなどと何が違うのか、協力関係はどうなっているのかなど不明だらけ。プライバシーもどうなっているのやら、、、
690	無償でケアするとは、ケアの時間が1日の多くを占める場合は、どうやって生計を立てれば良いのでしょうか？
691	無償ではなくて、行政からの多少なり金銭的な支援が無いと なかなか増えないと思う。
692	無償では無理な企画だと思う。
693	無償で仕事をしてもらおうのはどうなんだろう
694	無理なく多くの人に参加できる環境があれば、とても有意義なことと思います。
695	支援を必要としている家族を持つと、孤独になりがちだし、うまく出来ない自分に落ち込んだり、苛立ったりしてしまい事もあります。そんな自分が嫌になる事の日々です。私の立ち上げたサークルにこれの方々、その他、外に出れる方々は、ある程度、前に進める方々です。本当にどん底で本当に参ってしまっている人は、外に出る事させ拒み、怖がります。そんな方々を、いかに見つけ、救うかが、とても重要だと思ってます。
696	名称がよくないと思います
697	問題点は2つ 1つめは、未だ面倒は家族がみて当たり前という考え方が基盤になっていること 2つめは、経済的な原因から福祉サービスを受けられない世帯がかなりあること これを変える必要がある
698	優しく接しないといけない仕事だから休日はリラックスできる環境。
699	予算や人的不足があるかと思いますが、ボランティアなどの比較的専門的知識の浅い支援活動の充実をはかるのではなく、専門的知識のある機関が行う公的な支援の充実を望みます。 また、LINEやメール等の、時間や場所を選ばないコンテンツ作りが必要かと思います。
700	予算確保
701	要介護者と生活しています。 一番、欲しいと思うのが、自分ひとりの自由な時間です。 今は自分も健康問題等が無く、そう思えるのだと思いますが。
702	両親の介護をやりました・・・会社や奥さんに理解を得られなかったような気がします。 社会的にもケアラーを子供のころから教えてあげて理解者の割合を増やすべきだと考えます。
703	良い制度だと思いますので、進めていただきたい。
704	良い制度だと思うので、普及するように県、市町村で推進いただきたい。
705	良く解らないのでコメント出来ない
706	良く知らないのですが、もっと話を聞かなければ答えにくいですが、一つ言えることは、手助けは必要だと思うが、手を出し過ぎて自分たちでしなくなるべきではないようにすべき。 あと、なぜこのようになるのかを考えて、もっと事前に対策を打つべきだと思います。
707	例えば余剰食品でもいいですし、他の商品でもいいですし（転売もありだと思います）、別に職業を与えるでもいいですし、何か経済的な支援をしないと、結局この国はパワハラ的民族性を脱することはできません。行政はたとえ税金をあげてたとしても、こういう存在への経済的支援をすべきではないでしょうか。特に未来を担うヤングケアラー世代には、精神面も含めてそうした配慮が必要だと思います。
708	老々介護の時代なので、いろんな人の助けになればいいと思う。
709	老老介護も大変だけれど、将来のある若い人が介護のために自分の生活を犠牲にしているのを見ると気の毒でたまらない。 なにかしたいが、へたに手や口を出して悪い結果になることを恐れている。 専門家が、一般人にも出来ることを提案して、各々の力に応じてボランティアが出来たら参加したいが、直接ケアラーと向き合うのは難しいと思う。